

珠々の詰連珠 (2)

五段 真野 芳久 著

東海連珠会

目次

0	各章のテーマについて	7
1	ゼロ手の詰連珠	13
2	一手の詰連珠	19
3	三手の詰連珠	43
4	長めの詰連珠	73
5	序盤の詰連珠	89
6	ひとめの詰連珠	95
7	逆転の詰連珠	103
8	六路の詰連珠	111

.....

本冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧頂けます。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

はじめに

五目並べとも呼ばれる^{れんじゆ}連珠は、15 × 15の連珠盤と碁石を使って2人が交互に石を置き、先に五つ連続して並べた方を勝ちとする盤ゲームです。幅広い世代で気楽に、そして名人戦や世界選手権等で真剣に楽しまれています。対局での最後は、三や四等の攻め手(追い手)で相手に防ぎを強要しながら、五や四三等の勝ち形を作ることになりますが、その部分だけを問題として抜き出して一人でも楽しめるようにしたのが^{つめれんじゆ}詰連珠です。

筆者は東海連珠会ホームページ(<http://tokai-renjukai.pya.jp/>)の“詰連珠コーナー”で多くの詰連珠問題を発表していますが、ここではそれらの問題に新作も加え、種々のテーマの下で編集した形で紹介します。“種々の”をもじって冊子のタイトルを“珠々の”としていますが、ご容赦下さい。“珠々の”のテーマの一覧は目次でご覧頂けますが、それらのいくらか詳細な説明は0章「各章のテーマについて」にあります。

どのテーマの詰連珠でも、易しめの問題も含め、実戦でも役立つ手順や詰め

の感覚を養ってくれる手順が含まれています。各章は、筆者の主観ではありませんが、易しめの問題から難しめの問題に順に並ぶようにしています。

詰連珠では勝利形直前の四追いは一手と数えますが、四追いと明示した問題を除き、易しめの問題とするために最後の四追いは、変化図も含め、短めとなるようにしています。また、防ぎの変化の少ないものを選んでいきます。

“詰連珠”と称する以上、出題者の意図する趣旨や技量の上達に役立つ教訓的な手順が含まれています。そのような趣旨や教訓が明確になるよう、解に関係しない石はできるだけ省く方針で作っていますが、作り物っぽくなるのを避け実戦の局面の一部として現われてもよい形になるようにも配慮しています。

不詰め*¹はもちろん余詰め*²もないように作っていますが、もし不都合の点を見つけられた場合は、筆者まで連絡して頂ければ幸いです。

*¹ すぐれた防ぎのために攻め手に勝ちとなる手順のない問題。

*² 出題者の用意した手順以外でも、攻め手に勝ち手順のある問題。手順前後のように同趣旨の異なる勝ち手順は、許される範囲内とみなされます。

連珠の基本用語

連珠に馴染みのない方のために、連珠の基本用語を簡潔に説明しておきます。
黒石を持って先に打つ側を黒、白石を持って後で打つ側を白と呼んでいます。

五ごれん : 縦・横・斜めに同色の石が丁度5個並んだもの。五連とも言います。
黒・白とも勝ちです。

禁手きんて : 反則手。打つと(相手の四や三等を防ぐためでも)負けです。

長連ちょうれん : 縦・横・斜めに同色の石が6個以上並んだもの。黒は禁手ですが、白は勝ちです。

四 : 1個の石の追加で五(白の場合は長連を含む)となるもの。

達四たつし : 四で、五にする場所が2つあるもの。棒四ぼうしとも言います。

三 : 1個の石の追加で達四となるもの。

三々さんさん : 着手点を共通点として同時にできる2つの三。黒は禁手です。

四々しし : 同時にできる2つの四。黒は禁手です。

四三しさん : 同時にできる四と三。

せんで

先手 : 黒のこと。時に、新たな戦いの場に先に打つ側のこと。

ごて

後手 : 白のこと。時に、新たな戦いの場に後に打つ側のこと。

ミセ手 : 次に四三 (白の場合は四々も含む) を作るぞ、と打つ手。

しお

四追い : 四の連続で打つこと。四追い勝ち、四追いで勝つこと。

フクミ手 : 次に四追いで勝つぞ、と打つ手。

おて

追い手 : 三を作る (ヒク) 手・四を作る (ノビル) 手・ミセ手・フクミ手の
総称。

防ぎ手 : 追い手に対して五を作らせないように打つ手。三や四に対して
防ぐことを止めるとも言います。

おいづ

追詰め : 追い手の連続で勝ちを導くこと。**追勝ち**とも言います。

ちょうれんすじ

長連筋 : 直線状に並び間に空点のある 3 つ以上の同色の石群で、空点を
同色の色で埋めた時に長連になるもの、またその状態。

けんさき

剣先 : 四ノビをできる場所。

- ノリ手 : 追い手になっている防ぎ手、または相手の四追い中に四ができる防ぎ手。
- ノリ切り : 相手の四の中にある空点に防ぐことで四になること。
- ノリ押さえ : 相手の四を端に防ぐ手が四になること。
- 夏止め^{なつど} : ○・●●●・○のように、両端が空点の三連で、空点の先に敵石(または盤端)があり、三でない状態。
- 長連筋の夏止め : 黒の三連で、○・●●●・●のように、2つの空点の先に黒石があって、三になっていない状態。
- 四ノビ無効 : 攻め手順に影響を与える防ぎ側の四ノビであるが、その四を止めることで新たな追い手が生じ、以前の追い手を加えたすべての追い手を防ぐ手段がないこと。^{*3}
- 無駄な四ノビ : 攻め手順に影響を与えない防ぎ側の四ノビ、および最短勝ち手順に影響を与えない攻め側の四ノビ。

^{*3} 詰連珠の解答では、防ぎ変化の一部として、無効な四ノビについて言及する必要があります。

本冊子で使っている記法

- : 天元の位置 (盤の中央) にある黒石。
- 1 後 A : 攻め手側の着手 1 に対し、どのように防いでも A として勝ちとなることを示します。
- (イロハ) : 丸括弧で囲むことで四追いであることを示します。
- # : これに続く文は、正解手の補足説明です。
- ※ : これに続く文は、失敗手の説明です。

本冊子は [1] の続編です。

[1] 真野芳久 : 「珠々の詰連珠 (1)」、東海連珠会, 2017.11、2023.12 第 2 刷。

0 各章のテーマについて

各章で扱っている詰連珠のテーマについての説明です。

0.1 ゼロ手の詰連珠

勝ちを確定的にする勝利形として、四三、(白の)四々や三々、黒の復活三々*4、黒に禁手を打たせる白の四や三があります。これらの勝利形を直ちに作る事ができる局面では、既に勝ちが用意されていると言えます。また、四追いで勝ちも、防ぎ手に考えさせることなく、従って防ぎの変化を検討する必要もなく勝ちを作ることのできるのので、この場合も勝ちが用意されていると言えます。

「ゼロ手の詰連珠」の章では、何の準備もなく(ゼロ手の準備で)、直ちに勝利形を作ることのできる問題、四追いで勝ちとなる四追い問題を扱います。

*4 三に見えるが禁手の関係で三でない筋を、禁点解消の方法で三にする三。否禁手です。

0.2 一手の詰連珠

“一手の”の意味は、詰連珠の解答に見られる‘黒1後 A または B の四三勝ち’や‘白1後 (イロ) で X 点三々禁’等のように、“一手打つと次の手で明白な勝利形が確実にできる”という意味です。詰連珠としては“3 珠打上げ”の問題となりますが、“白の三々勝ち”や“三による禁手狙い”も勝利形として含めたいこと、容易な問題クラスであることを強調したいことのために敢えてこのように命名しています。

既に「一手の詰連珠」と題する小冊子 [2] を出しています。興味のある方はそちらもご覧下さい。

0.3 三手の詰連珠

詰連珠の解答にある‘黒3後 A または (イロハ) の四三勝ち’や‘白3後 A にて X 点三々禁’のように、攻め手側の2手目を打った時に確実に勝ちとなる状

況になる問題を集めています。詰連珠としては“5 珠打上げ”となりますが、確実な勝ちの状況として“白の三々勝ち”や“三による禁手狙い”の問題も含めています。

「一手の……」では実現できない様々な趣旨の易しめの詰連珠が可能で、「一手の……」を卒業された初級者の方はこのクラスの問題を多く解いてみることをお勧めします。本小冊子でも最も多くの問題を載せています。

0.4 長めの詰連珠

「三手の……」よりは“長め”の詰連珠問題を集めています。“長め”とは言え、‘黒5後、……’あるいは‘白7後、……’のように「五手の詰連珠」あるいは「七手の詰連珠」に相当する問題に限っています。好手・好防が織り交ざった実戦にも役立つ手順を含む問題が多く、手筋を学び読む力を養う良い練習問題になっています。

0.5 序盤の詰連珠

実戦ではまず黒も白も攻めの拠点となる好形を目指します。黒が先着していますので、序盤での白の緩い手はいっきに黒勝ちの形にできることがあります。一方、序盤での黒の一見“好形”は逆に三々禁の卵でもあります。開局規定によってはこれまでに見たこともない序盤が出現することもあり、黒も白も三々禁への注意を払って打つ必要があります。この章では黒石が6個以内の序盤における問題を集めています。白先では主に三々禁に絡んだ問題ですが、そうでないものも含まれています。

0.6 ひとめの詰連珠

ある種の局面を上級者が見ると、“ひとめ”で初手の着手場所あるいは最終の勝ち形がひらめき、追詰めの有無を直感的に判断できることがあります。ただ

し、すべての変化も含め最後の勝ちまで読み切ることは即座にというわけではなく十分な時間が必要でしょう。

この章には、完成までの手数は様々ですが、そのような局面の問題を集めています。追詰めを可能とする好手を見つけるセンスを養うことができます。初手が分かっていても追詰めを完全に示すにはすぐれた読みの力が必要です。読みによって間違いなく追詰めがあることを確認する訓練もできるでしょう。

0.7 逆転の詰連珠

相手の勝ちになっているように見える絶体絶命の局面にもかかわらず、起死回生の好手によって逆転の勝ちにもっていける問題を集めています。相手は直ちにあるいは四追いで四三を作ることができそうであったり、相手の禁手狙いが成功しそうであったりします。このような危険な局面から脱却し、逆に勝ちにもっていくための手筋を見ることができます。ここではノリ手・ノり返しの手筋や、禁手に絡む連珠の法則の応用等が出てきます。

0.8 六路の詰連珠

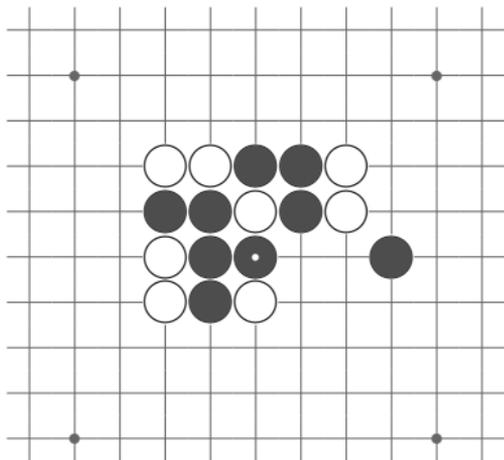
複雑な問題領域に対して性質を損なうことなく小さくすることは、考え方を容易にし本質を見やすくする効果があります。詰連珠を成立させる最小の盤は六路です(五路では三を作れません)。六路という小さな世界でありながら、詰連珠の本質的な面白さを十分に楽しめる問題が多く作られています。既に六路盤詰連珠の小冊子 [3] を出していますが、この章ではそれ以降に作られた問題を集めています。

[2] 真野芳久：「一手の詰連珠」、東海連珠会, 2014.9、第3刷 2023.12。

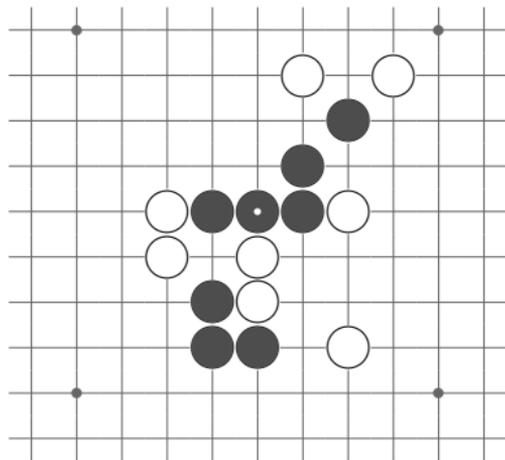
[3] 真野芳久：「六路盤詰連珠作品集 1～5」、東海連珠会, 2011.11～2012.12、第2版/第2刷 2017.11。

これらの小冊子は、本小冊子と同様に、東海連珠会ホームページの連珠資料のページから pdf ファイルとして入手可能です。

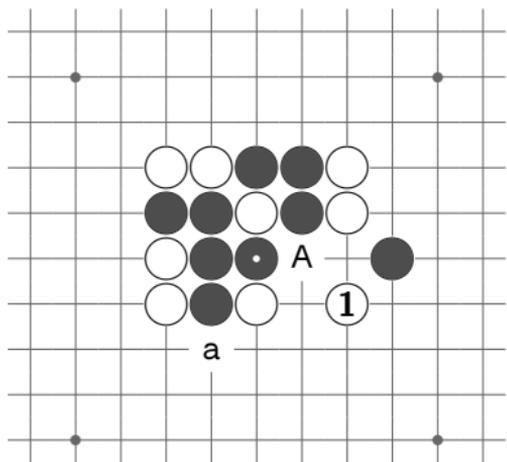
1 ゼロ手の詰連珠



【問 1-1：白先】黒は次に四三を作る
ことのできる点が2ヶ所あります。

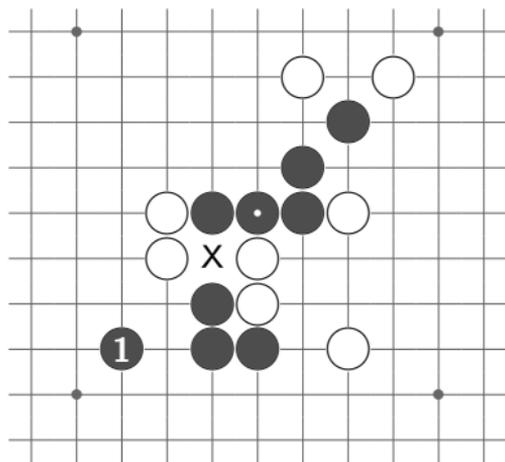


【問 1-2：黒先】四々禁を狙われてい
ますが、逆用します。



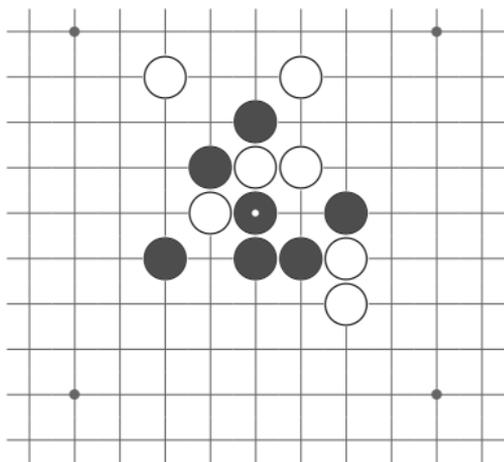
【問 1-1】白 1 の三々で白勝ちです。
黒の四ノビは役立ちません。

※ 初手で A の三々は、黒 a の四ノビ
後に黒 1 と止められます。

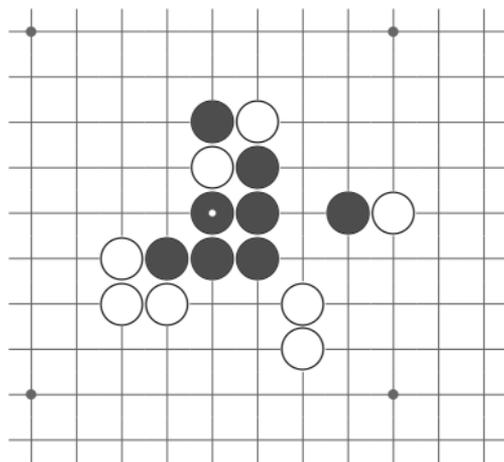


【問 1-2】黒 1 と三を打つと X 点の
四々禁が解除され、縦に復活した三が
できての“復活三々”による勝ちです。

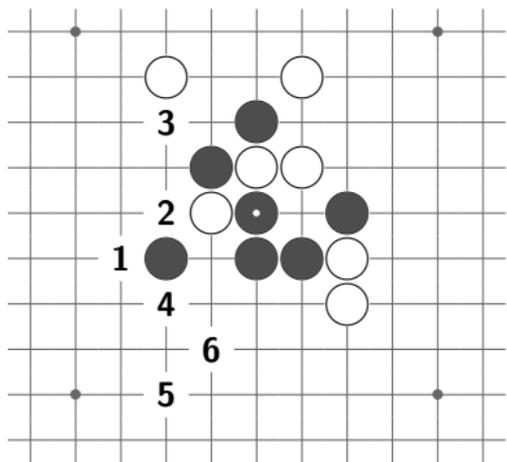
四三以外で黒勝ちとなる珍しい形
です。



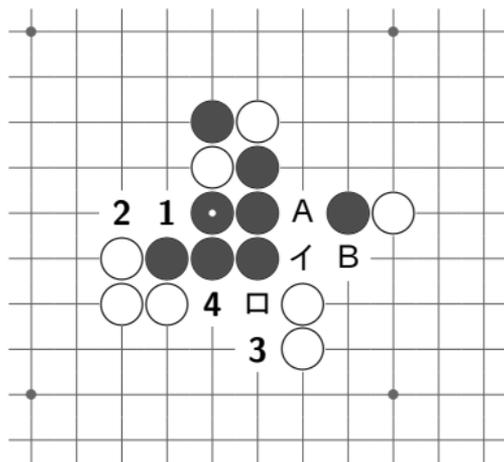
【問 1-3：黒先】少し長めですが読みやすい四追い問題です。



【問 1-4：黒先】ノリ手やウソの四三に注意する必要があります。



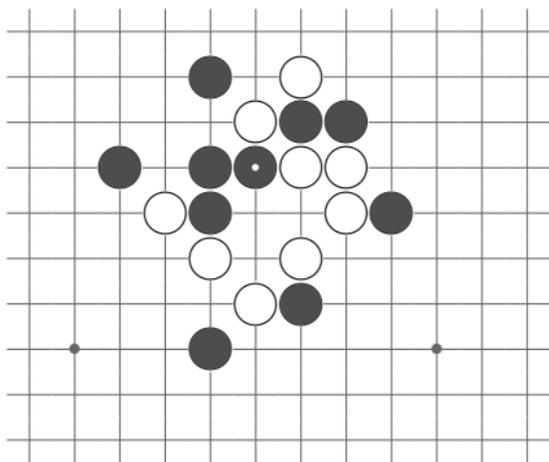
【問 1-3】黒 1~6^a の四追いで四三勝ち。



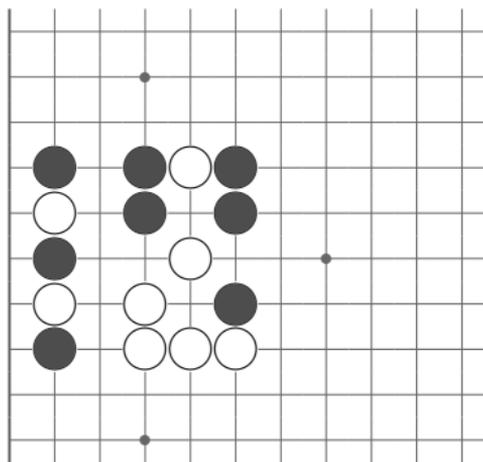
【問 1-4】黒 1~4 でノリ切りの達四勝ち。

※ A や (イロ) はノラれています。
 ※ B は四三のようですが、斜めの三らしきものは A 点が四々のため達四にできず、四三ではありません。

^a 四追い問題の解答では、攻め手側の着手だけを 1, 2, 3, … で表わします。

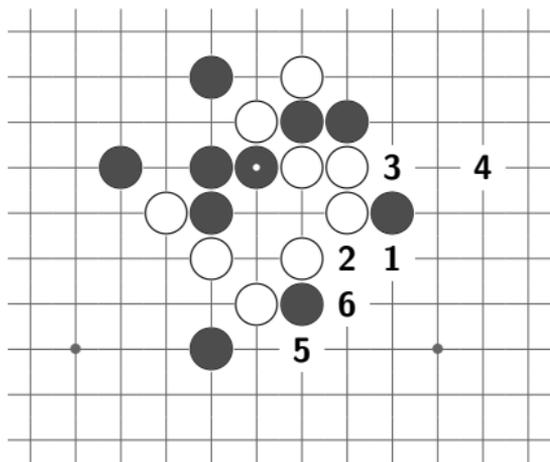


【問 1-5：白先】四追いで勝って下さい。



【問 1-6：黒先】10回の四追いです。

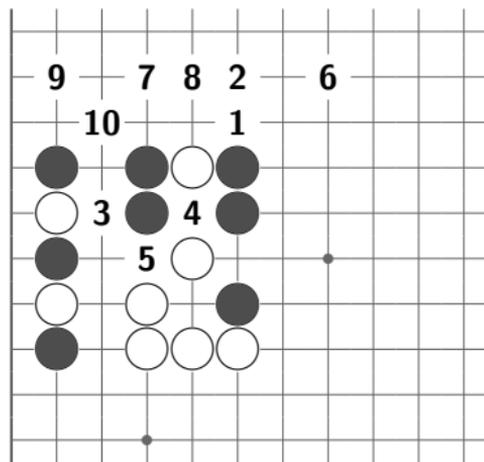
2018年の年賀用に作ったものです。
 天元に黒石がありませんが、文字型と
 いうことでご容赦。



【問 1-5】白 1~6 で四々勝ち。

「四々にノリ手なし」の格言があります。

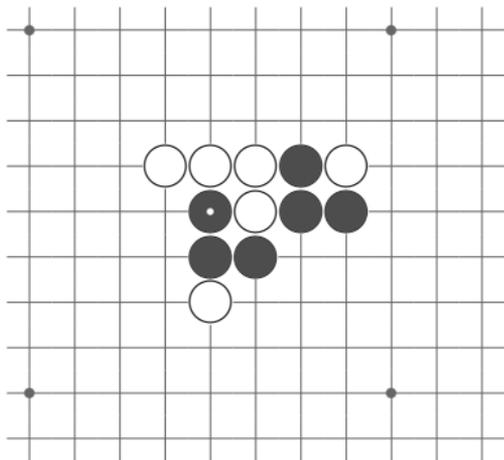
※ (1 2 5 6) や (1 3 4 5 6 2) はノラれています。



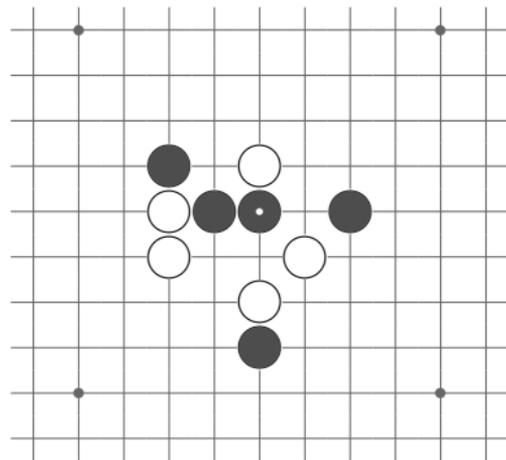
【問 1-6】黒 1~10 で四三勝ち。

少ない石数の文字型にしてはやや長めの四追いですが、素直な手順で勝ちに至るものです。

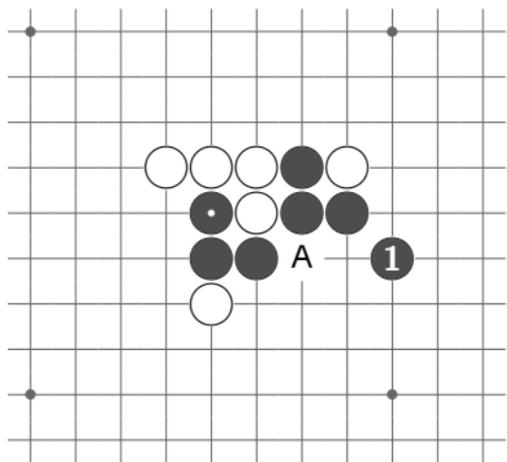
2 一手の詰連珠



【問 2-1：黒先】三々禁は打たないよ
うに。

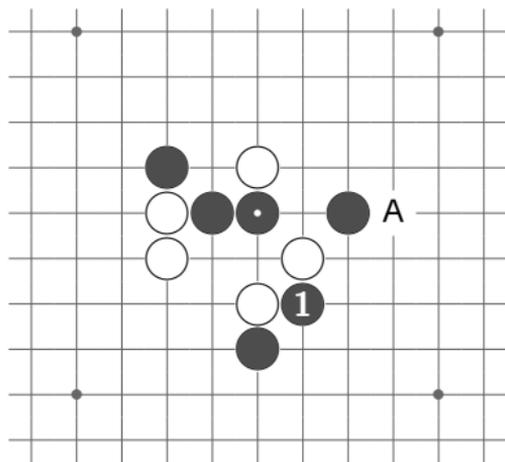


【問 2-2：黒先】簡単な問題ですが、気
付きにくいかもしれません。



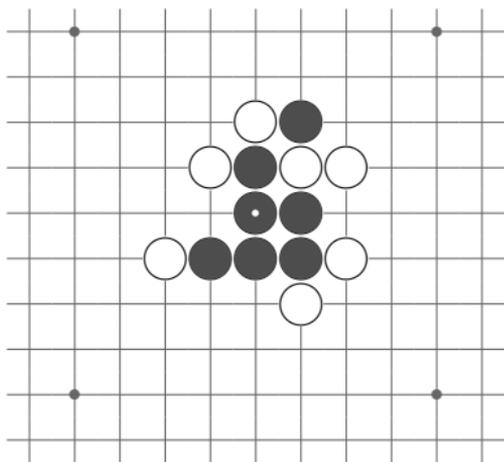
【問 2-1】黒 1 後、A の四三勝ち。

※ 初手で A は三々禁です。

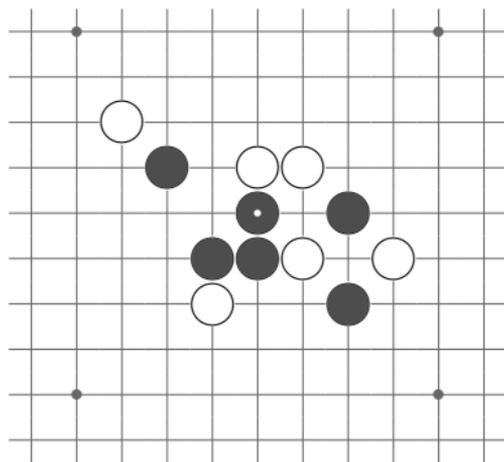


【問 2-2】黒 1 後、A の四三勝ち。

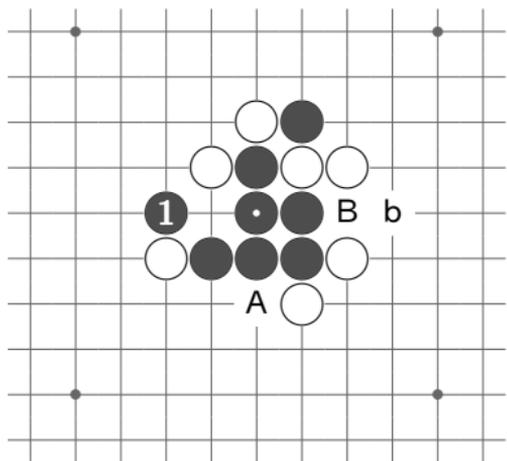
トビ三、トビ四は気付きにくいものです。トビ三を止めて白に三ができますが、四三を作って勝ちです。



【問 2-3：黒先】罨を見破って…。

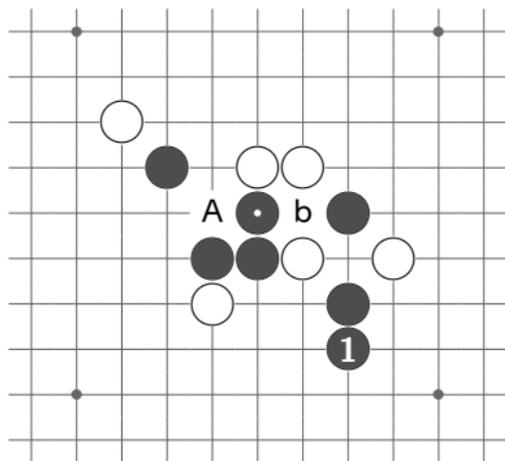


【問 2-4：黒先】四三となる点はどこ
 でしょうか？



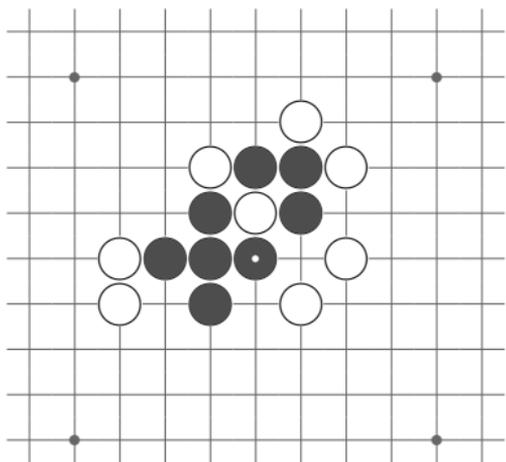
【問 2-3】 黒 1 後、A の四三勝ち。

※ 初手で B は、白 b と止められ勝ちが逃げます。

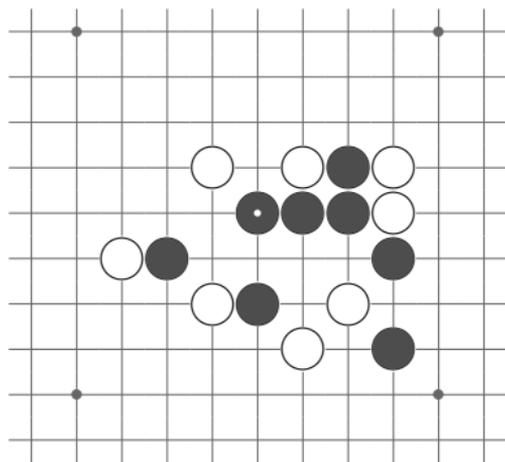


【問 2-4】 黒 1 後、A の四三勝ち。

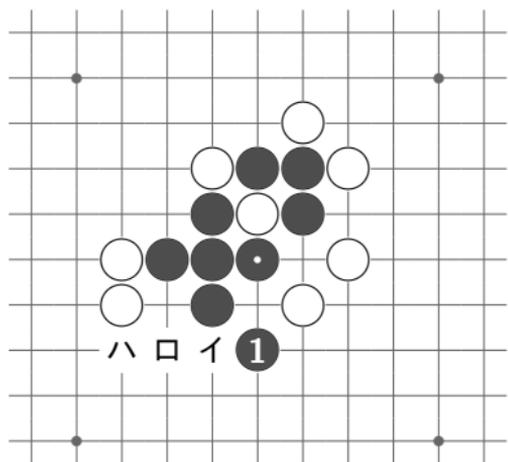
※ 初手で A として 1 点での四三を狙うと、白に b と三を止められノラれます。



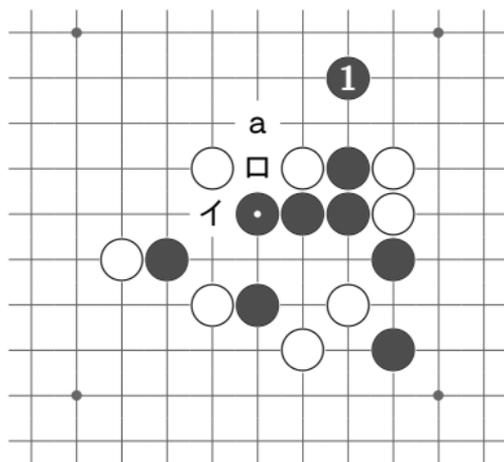
【問 2-5：黒先】簡単と思っても最後まで注意を払って。



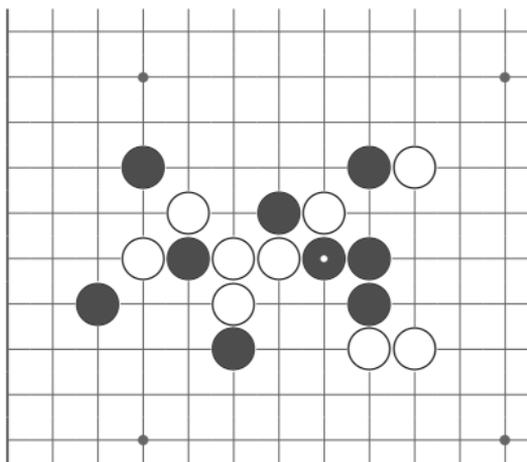
【問 2-6：黒先】三・四三ではありません。



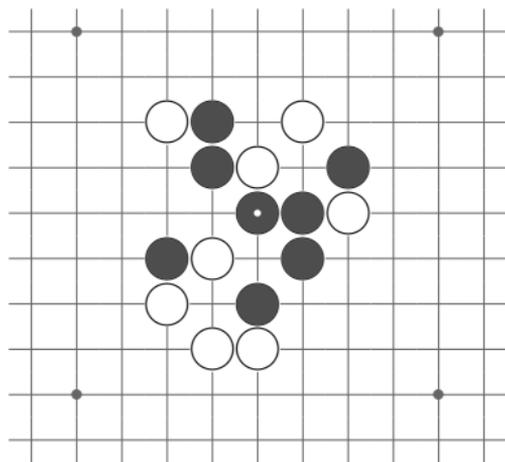
【問 2-5】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、
 または (イロハ) のノリ切り達四勝ち。
 # イ・ロの順が必要です。



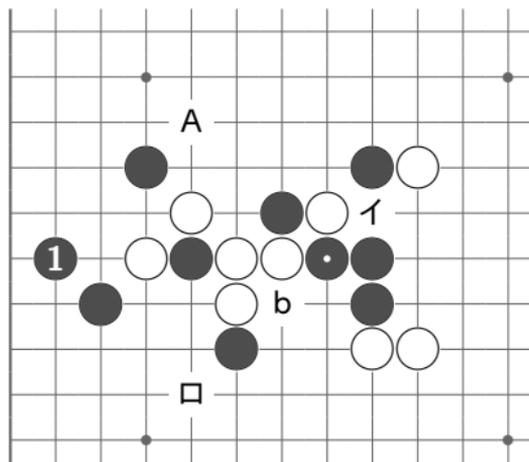
【問 2-6】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手でロは白 a と止められます。



【問 2-7：黒先】全体を結びつけます。

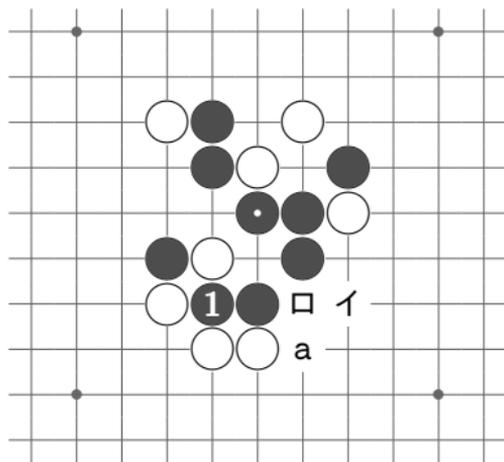


【問 2-8：黒先】防ぎの白石にも注意しましょう。



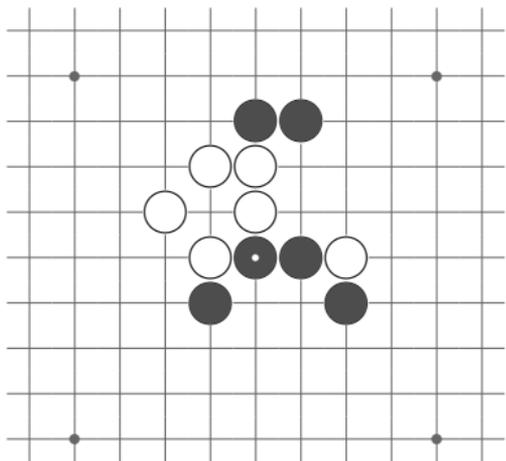
【問 2-7】黒 1 後、A または (イロ) の
四三勝ち。

※ 初手で口は白 b と防がれます。

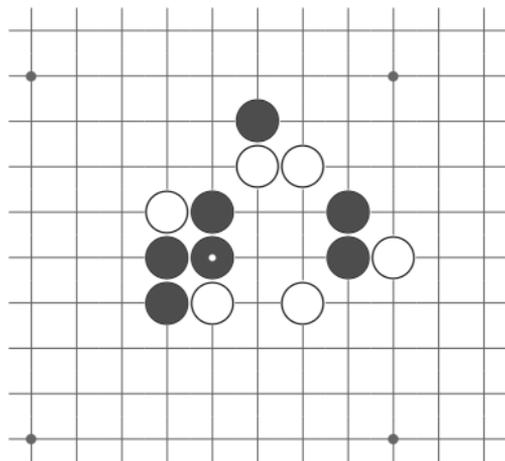


【問 2-8】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。

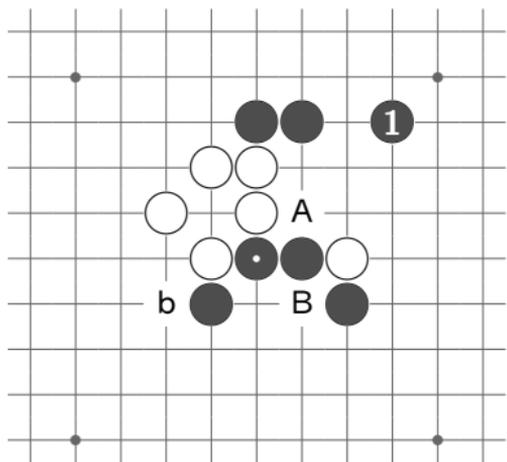
※ 初手で口は白 a と止められ、勝て
ません。



【問 2-9：黒先】白の防ぎにも注意して下さい。

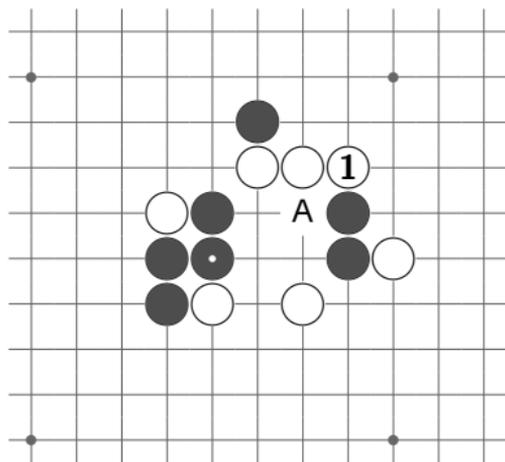


【問 2-10：白先】黒の抵抗を無にします。



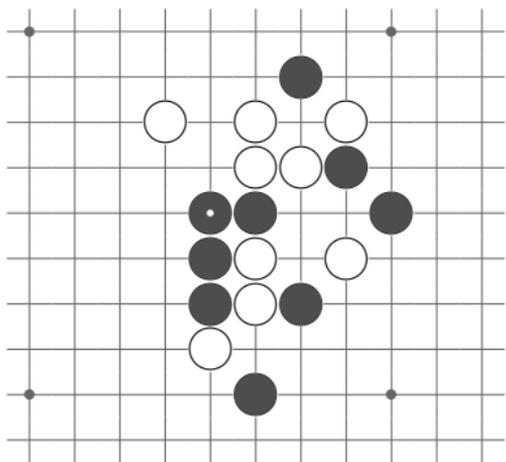
【問 2-9】黒 1 後、A の四三勝ち。

※ ‘B 後 A’ は、黒 B の時に白 b と止められ、ノラれます。

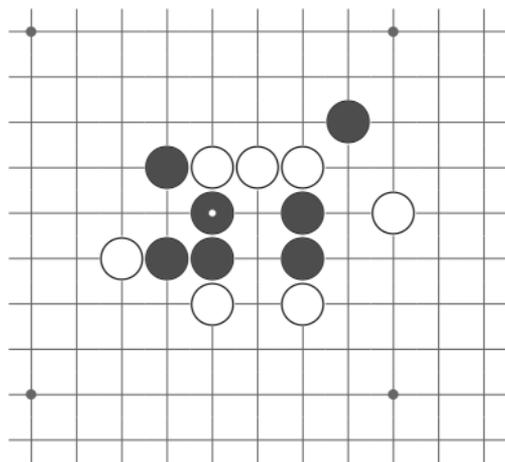


【問 2-10】白 1 後、A の三々勝ち。

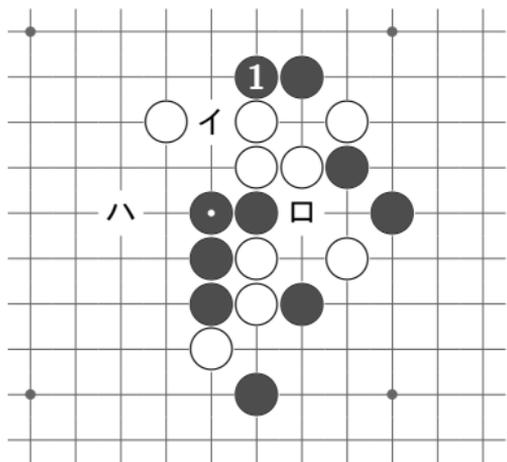
黒の四は役に立ちません。



【問 2-11：黒先】白には四三の点があります。



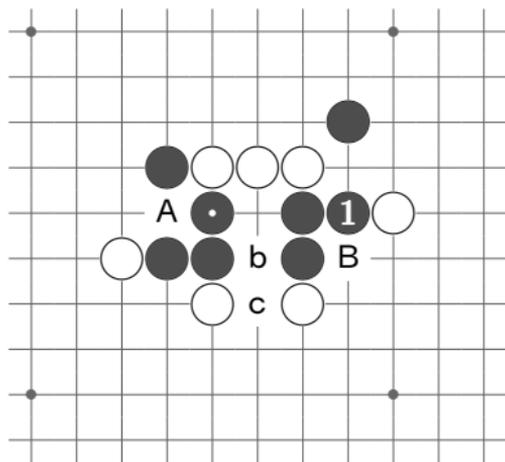
【問 2-12：黒先】白の四ノビによる防ぎが有効にならないように打ちます。



【問 2-11】 黒 1 後、(イロハ) の四三勝ち。

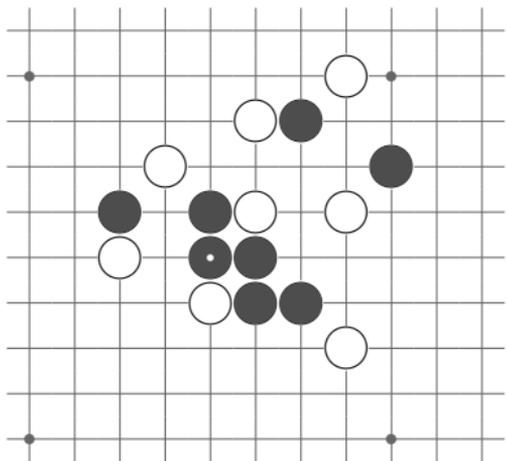
白はイ点に四三がありますが、黒 1 はそれをノッての三です。

※ 先にイの四ノビをすると、白の剣先が効いて勝てなくなります。

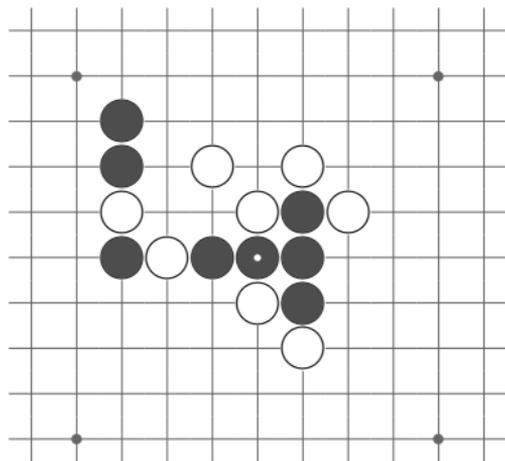


【問 2-12】 黒 1 後、A または B の四三勝ち。白の四ノビは新たに三ができ無効。

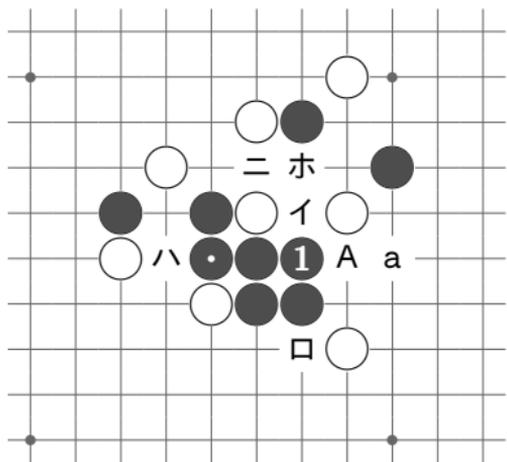
※ 初手から B・1 と進めると、白の四ノビで白石が b・c にくることになり、勝てなくなります。



【問 2-13 : 黒先】 防ぎ手に応じて…。



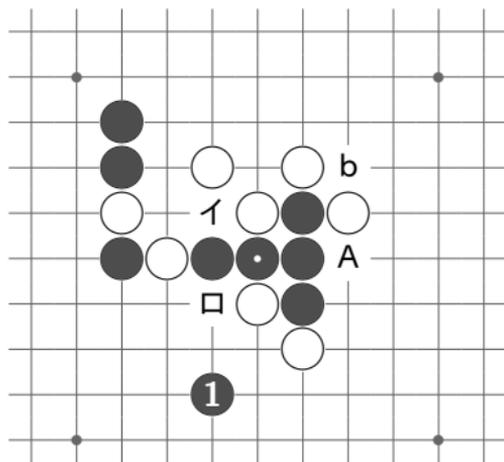
【問 2-14 : 黒先】 好手で決まり！



【問 2-13】黒 1 後、(イロ) または (ハニホ) の四三勝ち。

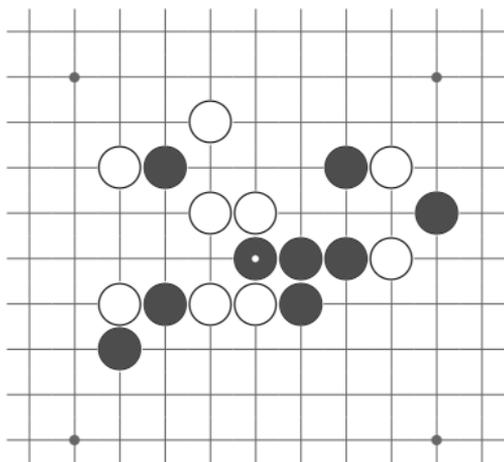
白 a の防ぎへの対応も忘れないように。

※ 初手で A は白 a と防がれます。

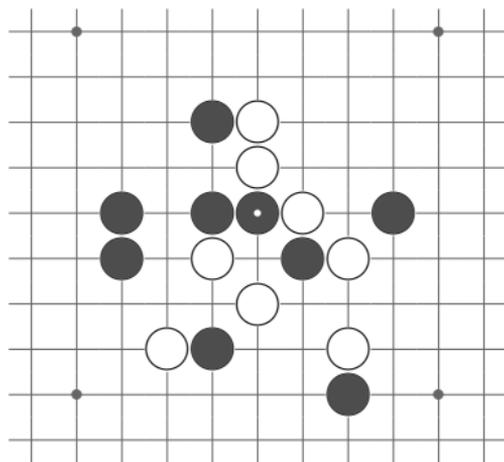


【問 2-14】黒 1 後、A または (イロ) の四三勝ち。

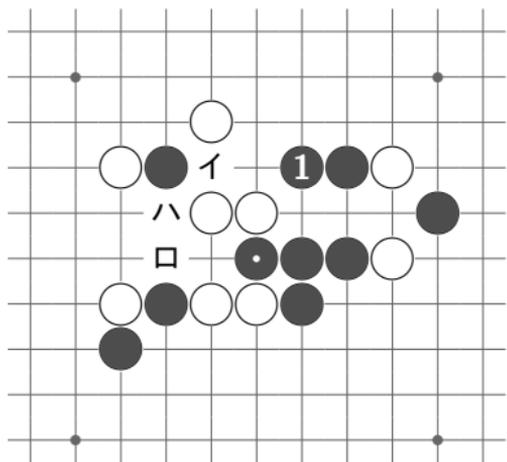
※ 初手で口は、白 b と止められます。先に四ノビをすると勝てなくなります。



【問 2-15：黒先】四三の点がありますが、四三を打つと白が四三を作ります。



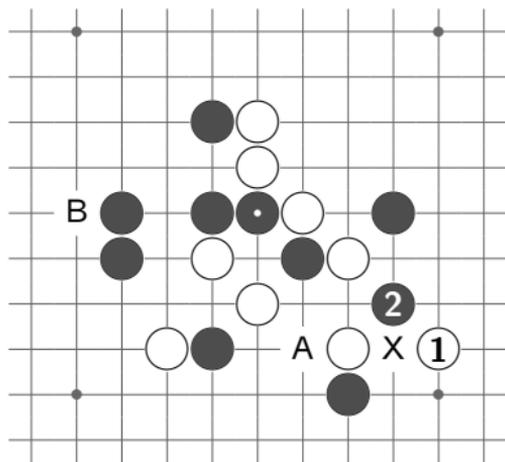
【問 2-16：白先】黒には四三の点があることを見落とさないように。



【問 2-15】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、または (イロハ) のノリ切り達四勝ち。

※ 初手でイは、白ロと防がれます。

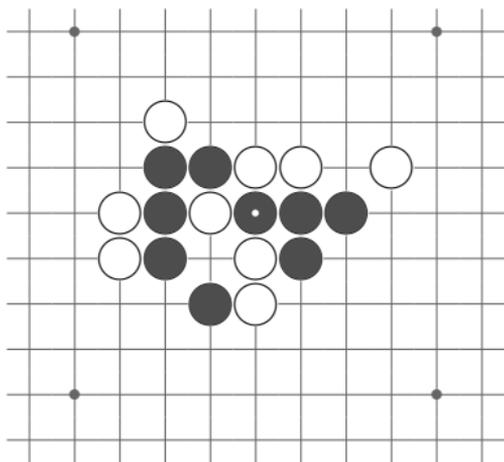
1 は白の四三をノッてもいます。



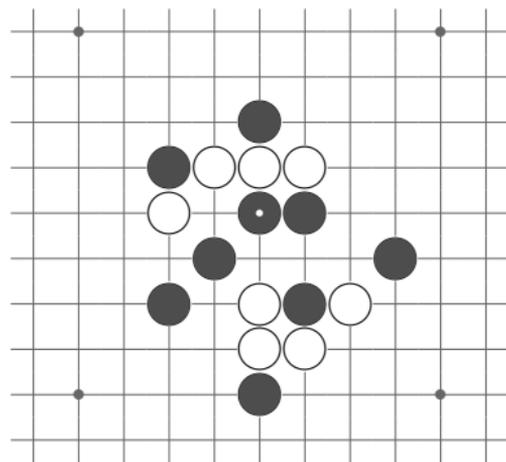
【問 2-16】白 1 で黒 2 と打たせ、次に A で X 点三々禁。

黒 B の四三は白 A と打つことでノッています。

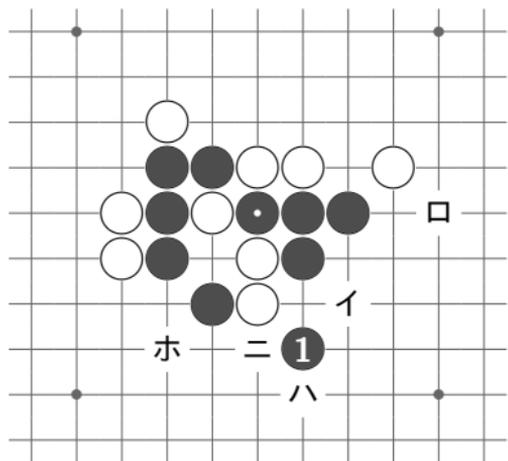
※ 初手で A は、黒 1 と防がれます。



【問 2-17：黒先】左右にある三剣を結び付けます。



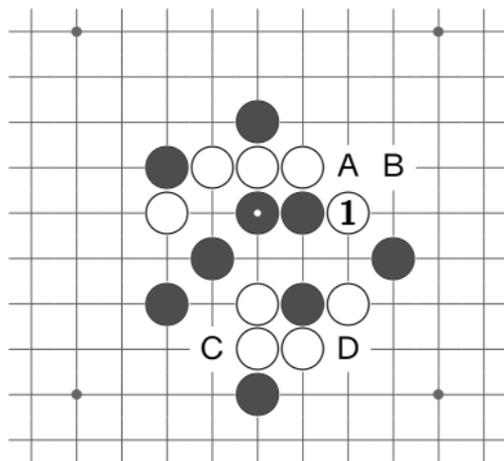
【問 2-18：白先】白だから勝ちになります。



【問 2-17】黒 1 後、(イロ) または (ハニホ) の四三勝ち。

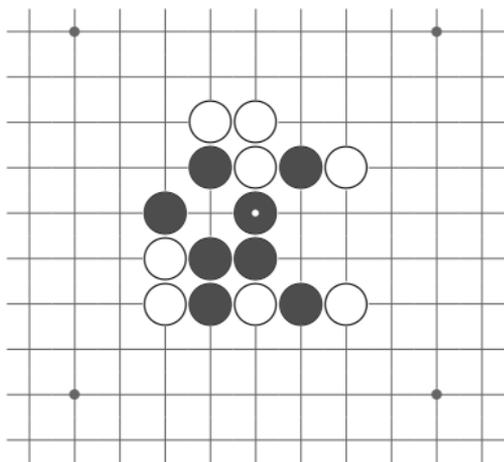
先にイやホの四ノビをしても勝てますが(ロは不可)、両フクミ手を使って綺麗に勝ちたいものです。

※ 初手でハやニもフクミ手ですが、白 1 の点が急所で勝てません。

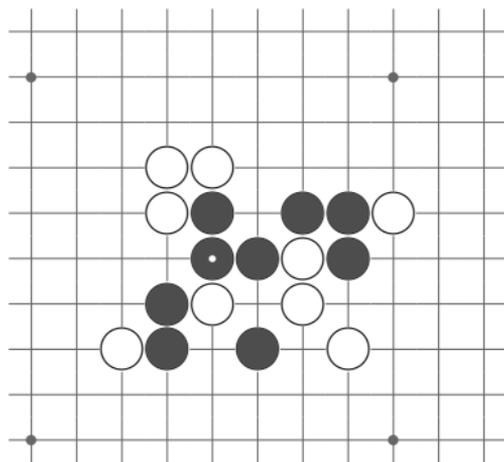


【問 2-18】白 1 後、A または B の四三勝ち、あるいは C または D の三々勝ち。

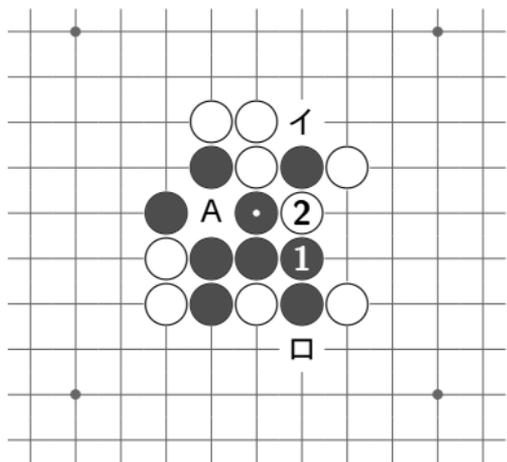
初手で三や四を作ると勝てません。



【問 2-19：黒先】四三々の点には打てません。

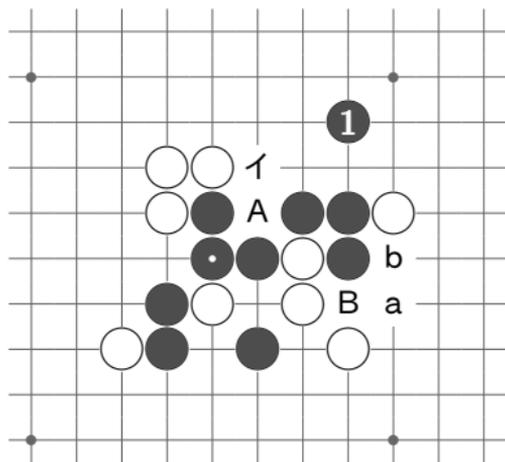


【問 2-20：黒先】ノラれないよう、でもノラれるのを恐れてもいけません。



【問 2-19】黒 1 として白に 2 と打たせた後、A の四三勝ち。白 2 が他でも、黒イまたは口として白に 2 と打たせます。

※ 初手で 2 は白イと、イは白 A または 1 と、止められます。

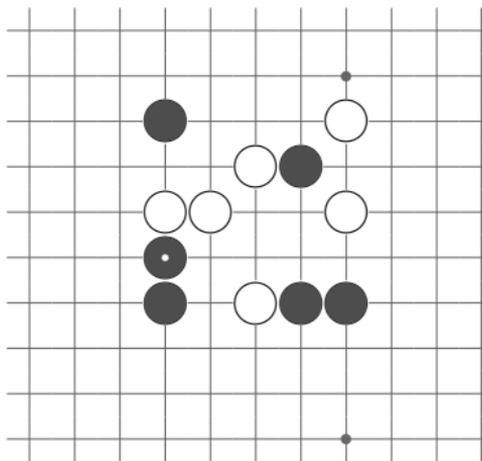


【問 2-20】黒 1 後、A の四三勝ち、または (A イ) の四三勝ち。

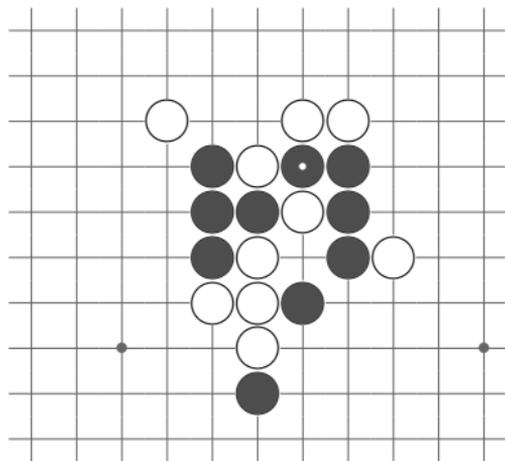
黒 1 の三を白が中止めした時はノラれますが、ノリ返しての四三です。

※ ‘A 後 1’ や ‘イ後 (A 1)’ には白のノリ手があり、黒は勝てません。

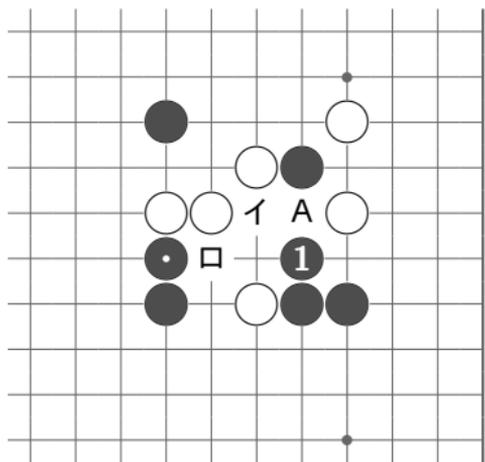
※ 黒イ・白 a・黒 B には、白 b です。



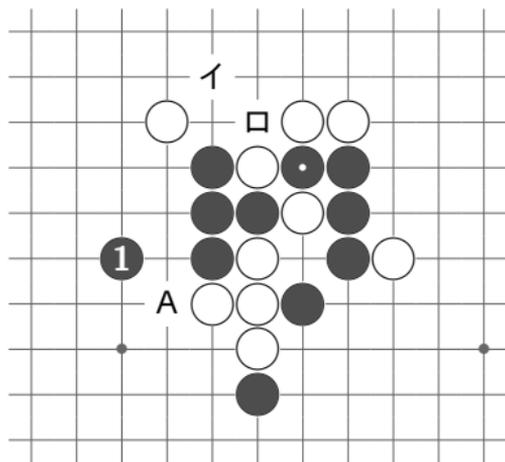
【問 2-21：黒先】 白の四三をうまく処理してゴール！



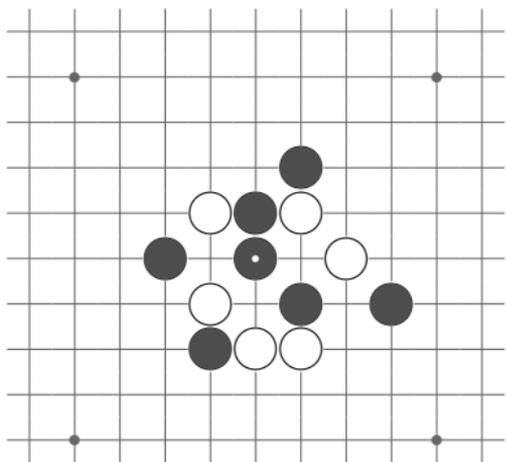
【問 2-22：黒先】 黒の勢力を確認して…。



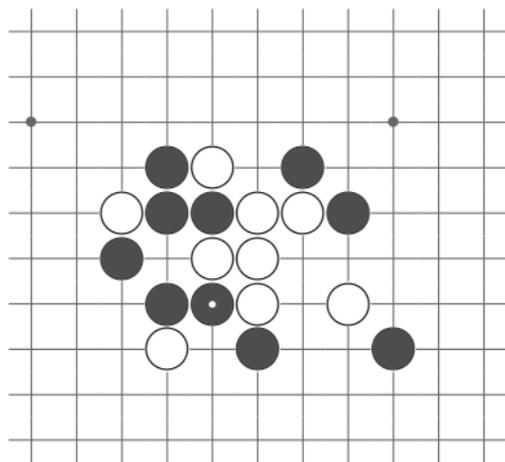
【問 2-21】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイや A も白の四三を止める
 追い手ですが、白 1 と打たれます。
 # 黒 1 は白の四三をノリつつの三で
 す。黒 1 以外の手だと、白勝ちになり
 ます。



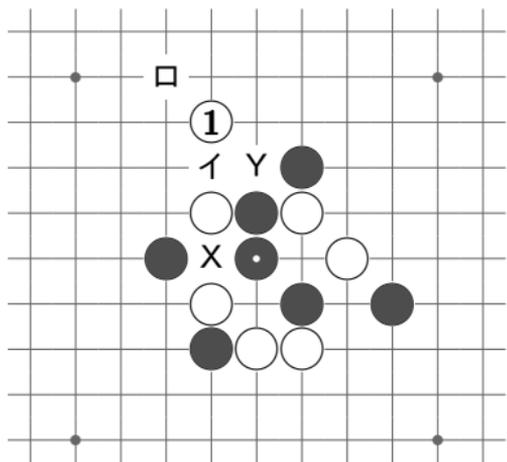
【問 2-22】黒 1 後、A または (イロ)
 の四三勝ち。白の四ノビは無効。
 ※ 先に四ノビをすると勝てなくなり
 ます。



【問 2-23：白先】『白を持ったら禁手を狙え』です。

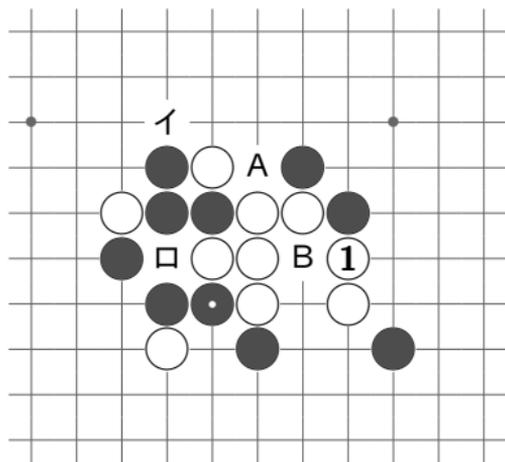


【問 2-24：白先】四三はノラれています。



【問 2-23】白 1 後、イで X 点三々禁、あるいは口または (X 口) で Y 点三々禁。

2 カ所の三々禁を絡めて狙うことで、黒に防ぐ方法を与えません。

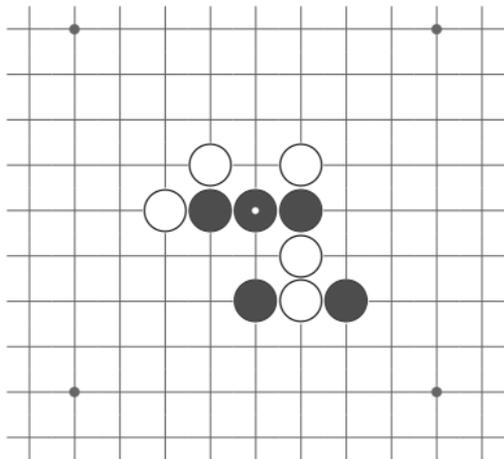


【問 2-24】白 1 後、A、(イ A) または (口 A) の四三勝ち、あるいは B の四々勝ち。

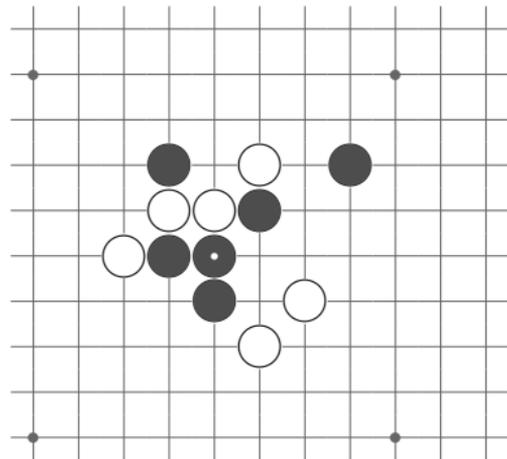
四三の点を飛び越えて作る珍しい形の三です。

※ 初手で B は、ノラれて勝てません。

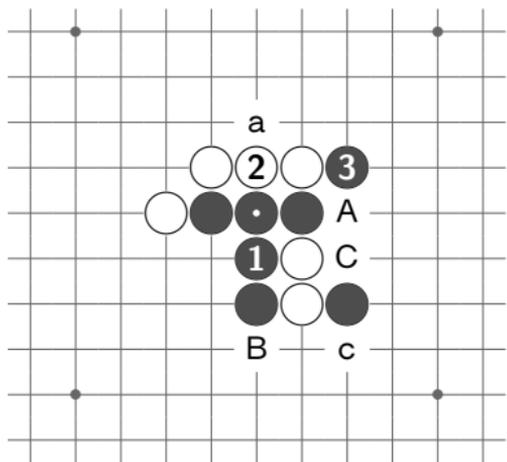
3 三手の詰連珠



【問 3-1：黒先】ノラれるのを恐れな
いで攻めます。



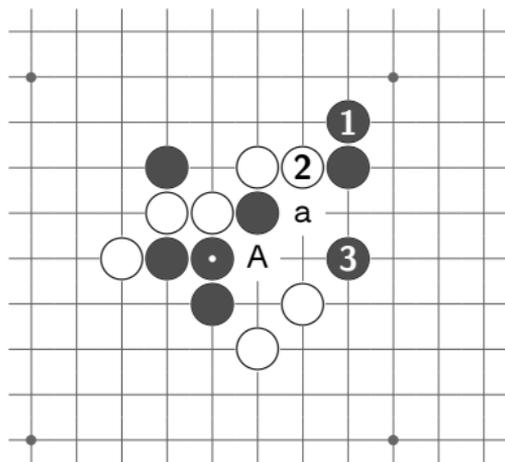
【問 3-2：黒先】トビ三の練習問題です。



【問 3-1】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 2 反対も同じ。

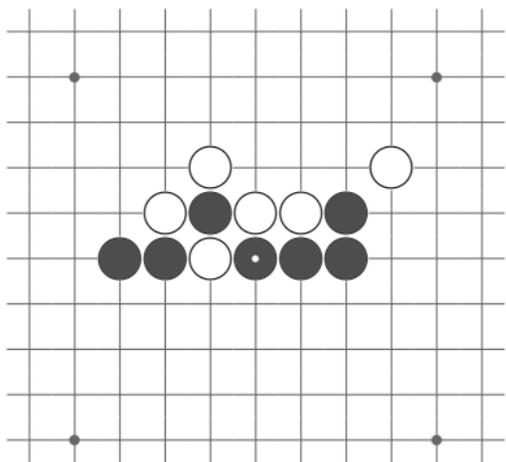
※ 初手で 2 は、白 a とノラれます。

※ 初手から B・白 1・C には、白 c と防がれます。

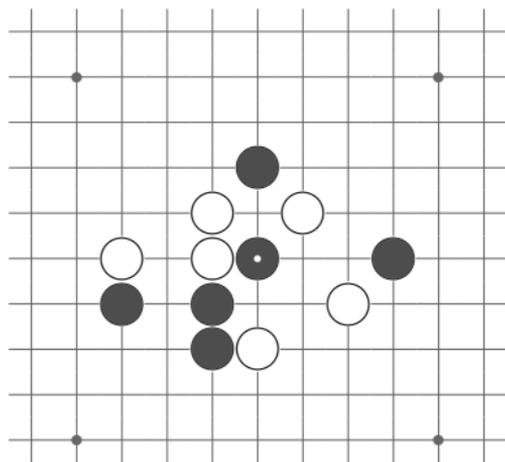


【問 3-2】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 2 で他にも同じ。

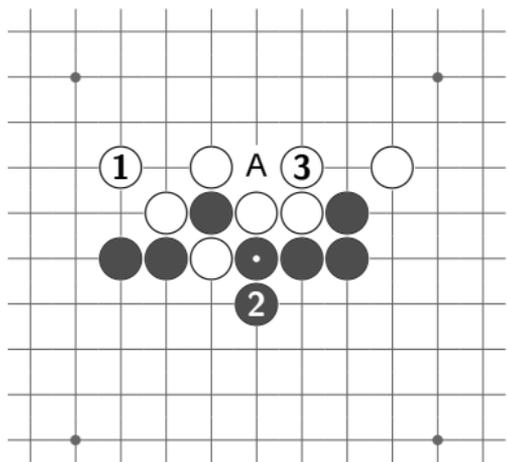
※ 初手で、あるいは 3 で A と打つと、
白 a と止められ勝てなくなります。



【問 3-3：白先】ノラれないように打ちます。

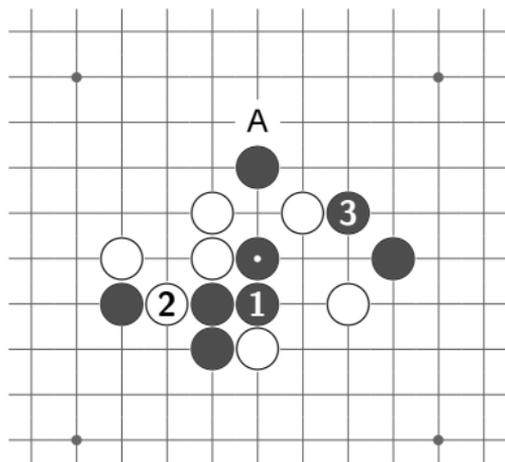


【問 3-4：黒先】四三を作る場所の見当をつけます。



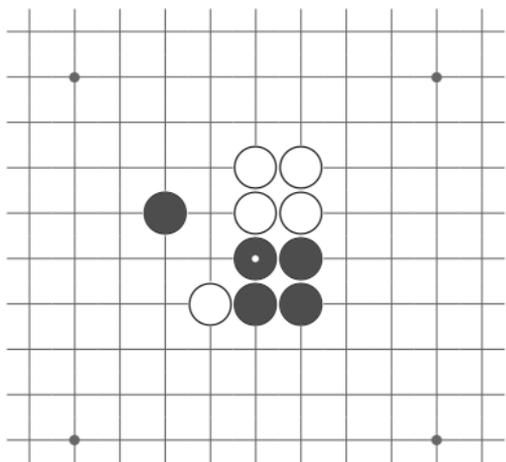
【問 3-3】白 3 後、A の四々勝ち。
 黒 2 で他にも同じ。

※ ‘白 3 後四追い’ はノラれます。
 # 四々にすればノラれる心配はなくなり
 ます。

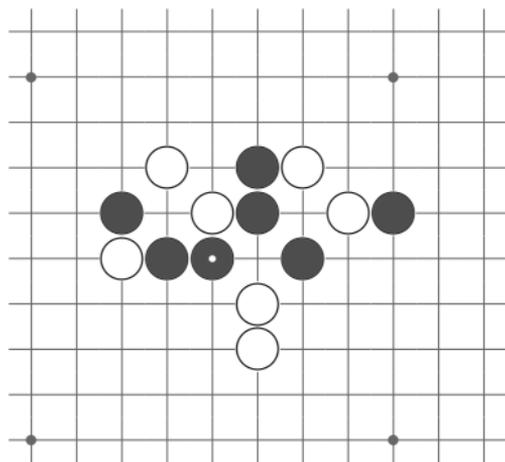


【問 3-4】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他にも同じ。

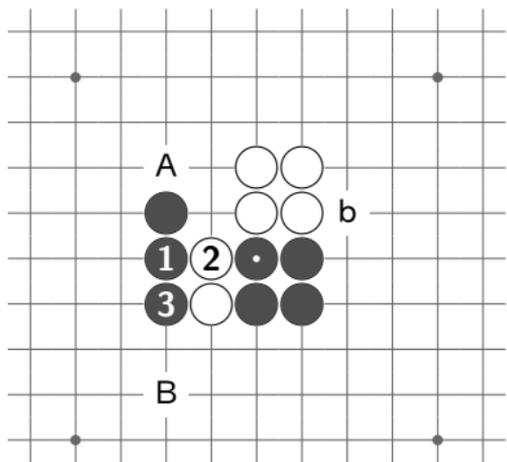
トビの連続は気付きにくいかもしれ
 ません。



【問 3-5：黒先】初手からは一直線です。

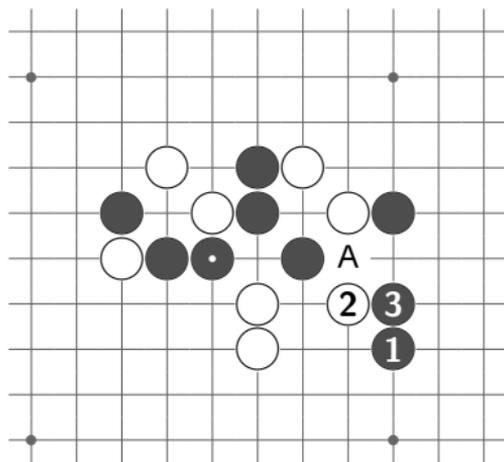


【問 3-6：黒先】気付きにくそうなうまい勝ち方があります。

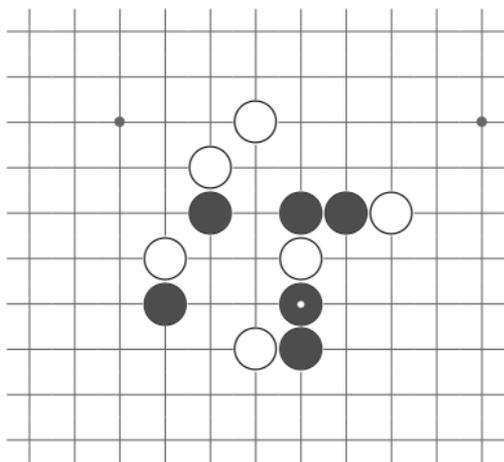


【問 3-5】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、2 の四三勝ち。

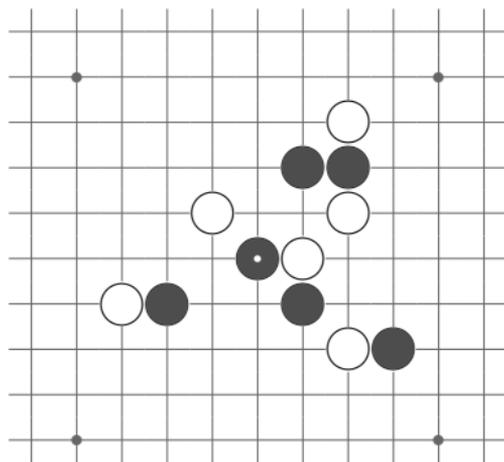
※ 初手で B は、白 b と止められます。



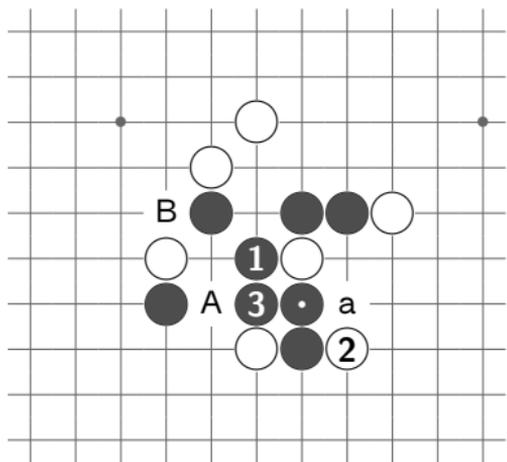
【問 3-6】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で他も同じ。



【問 3-7：黒先】ノラれないようにします。

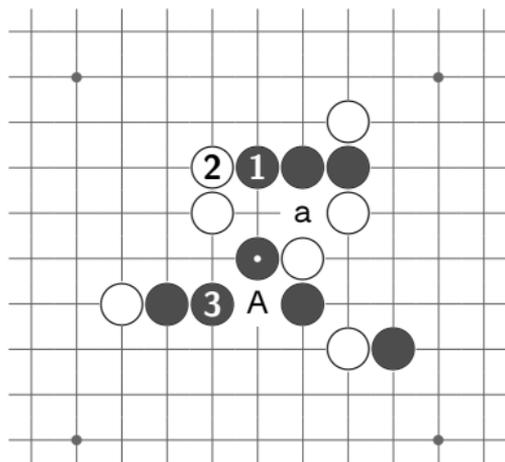


【問 3-8：黒先】どれをどうヒクかが大事です。



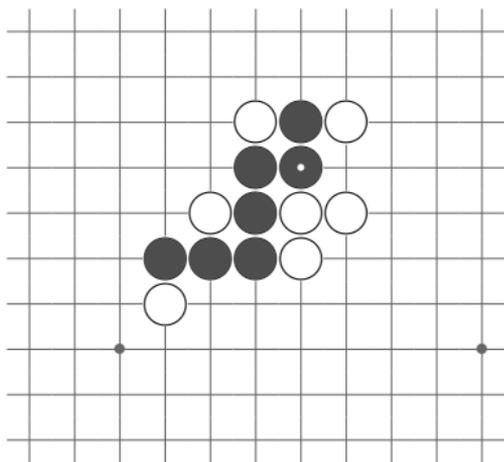
【問 3-7】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 反対も同じ。

※ 初手で 3 は、白 a と止められます。
 # 1 の三は、3 の時に白 a と止められないようにする事前工作の手です。

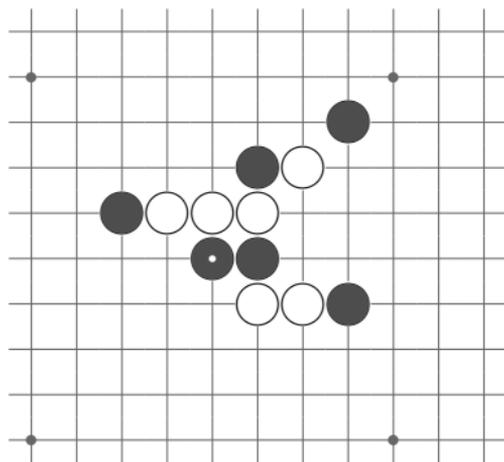


【問 3-8】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で反対は、A 後 3 の四三勝ち。

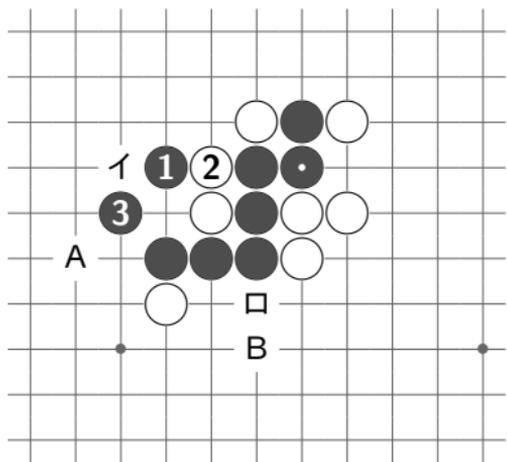
防ぎ手によって次の三を変えます。
 ※ 初手で A は白 3、3 は白 a で勝てません。黒 3 で A も失敗です。



【問 3-9：黒先】基本手筋です。

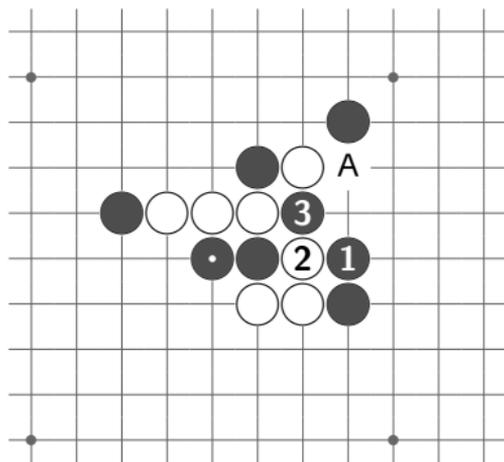


【問 3-10：黒先】白の四三に対処しつ
つの攻めになります。



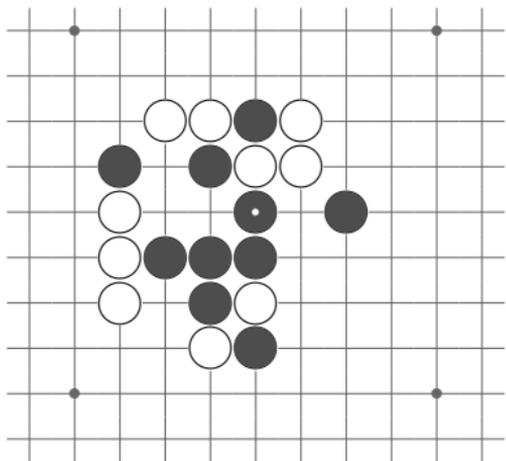
【問 3-9】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他も、同じ、または (イロ) の四三勝ち。

※ 四ノビすると勝てなくなります。

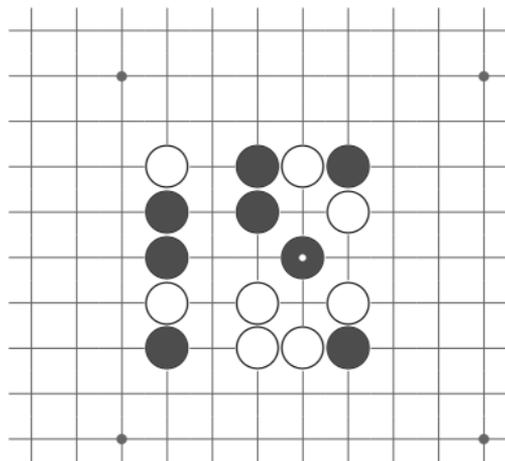


【問 3-10】黒 3 後、A の四三勝ち。白の四ノビは新たな四あるいは三ができるので無効。白 2 で他も同じ。

白の四三をノリながらの三で、四ノビの効果もなくしています。

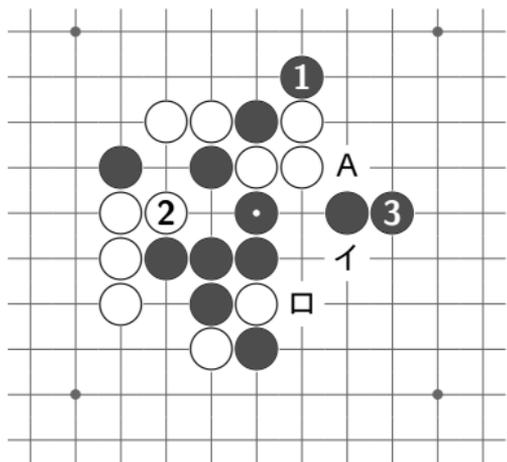


【問 3-11：黒先】2種類の三・四三の筋があるように見えますが、いずれもノリ手が邪魔しています。



【問 3-12：黒先】白の四追いが気になります…。

2018 年賀用の文字型問題です。

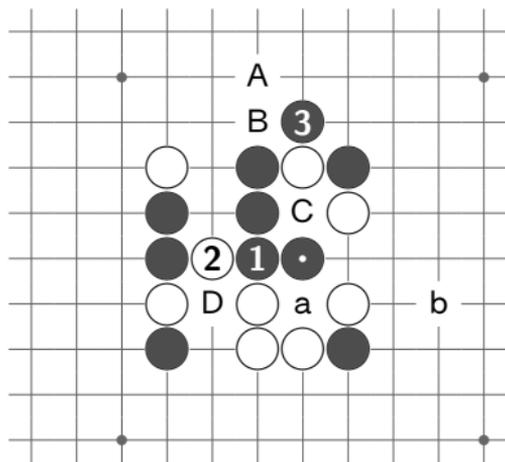


【問 3-11】黒 3 後、イの四三勝ち、または (イ口) のノリ押さえ達四勝ち。

白 2 で他にも同じ。

黒 1 は予めノリ手の一端を止めておくものです。

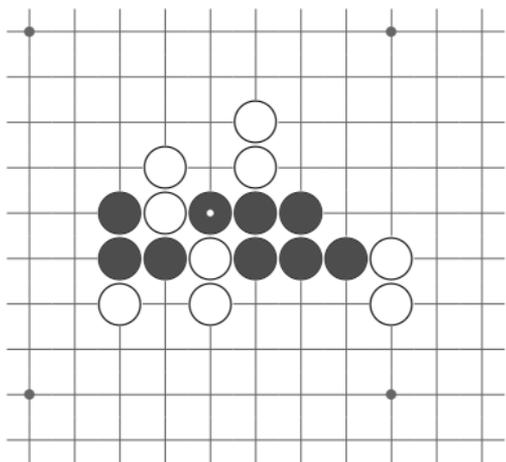
※ 黒 1 や 3 で A は白勝ちになります。



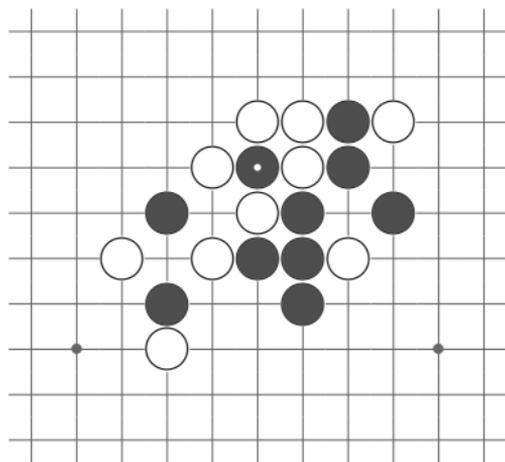
【問 3-12】黒 3 後、A の四三勝ち。白の四ノビはどの時点でも無効。

白の (a b) は、黒 1 でノッています。

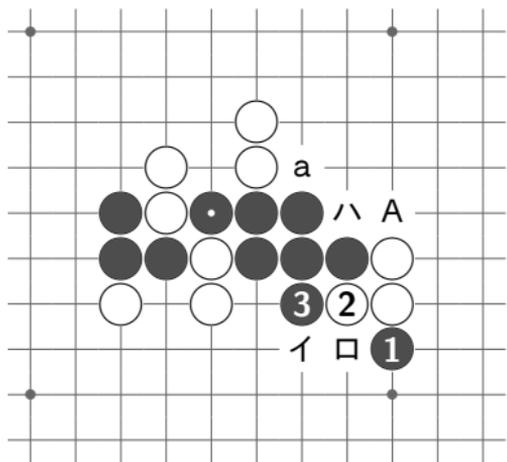
※ 初手で B, C, D は、それぞれ白 a, D, 1 と打たれ、いずれも白勝ちです。



【問 3-13：黒先】ノリ手を回避します。



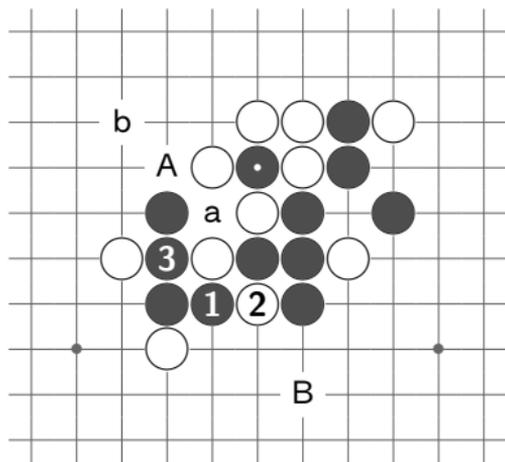
【問 3-14：黒先】防ぎの罫にはまらず、
綺麗にゴール。



【問 3-13】黒 3 後、A または (イロ) の四三勝ち。白 2 で他は、(2 ハ)。

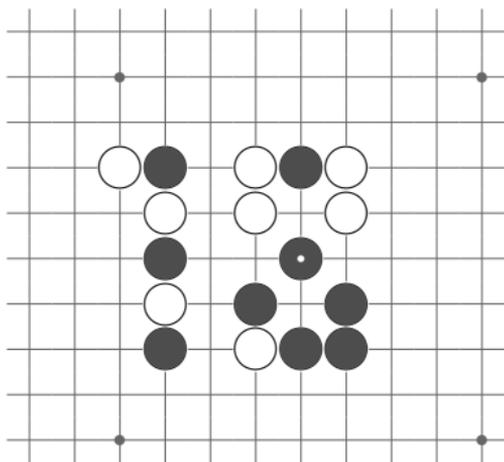
※ 初手で 3 は白 a と、ロの両ミセは白 1 と防がれます。

黒 1 と打つことで、3 に白 a の防ぎには四追いを残します。



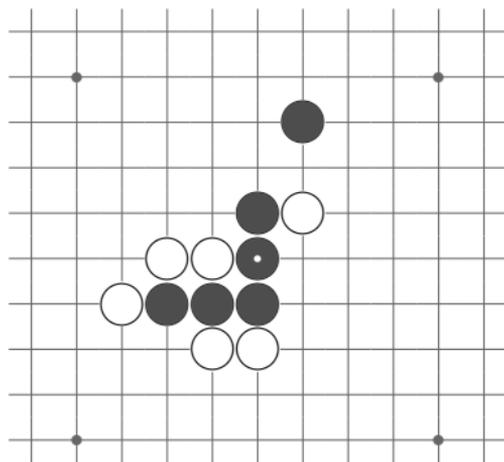
【問 3-14】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他も同じ。

※ 初手で 3 や A は白 a と、3 で A は白 b と止められます。

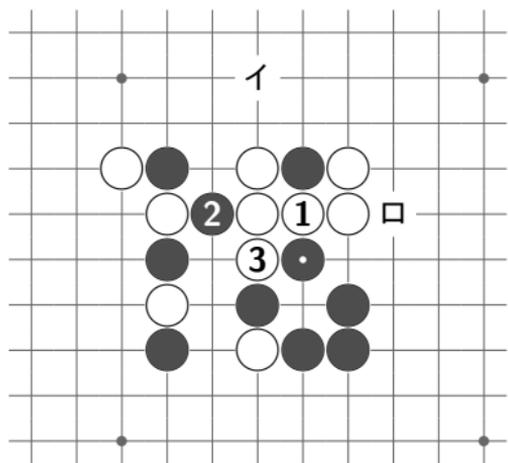


【問 3-15：白先】黒の剣先に注意し
つつ…。

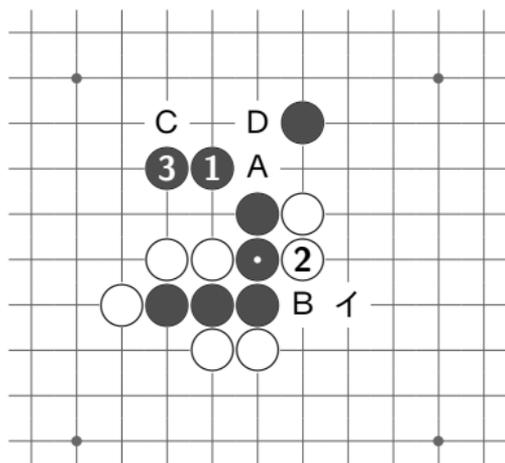
2018 年賀用の文字型問題です。



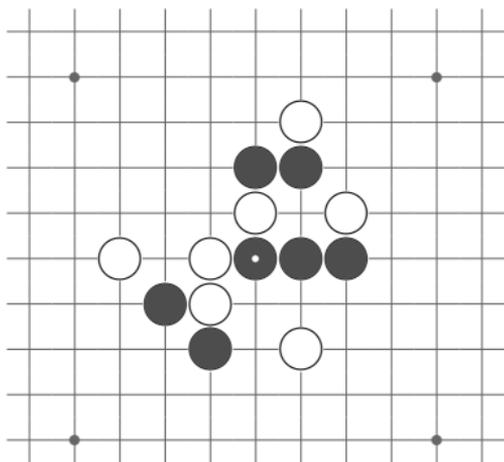
【問 3-16：黒先】剣先を有効に使
います。



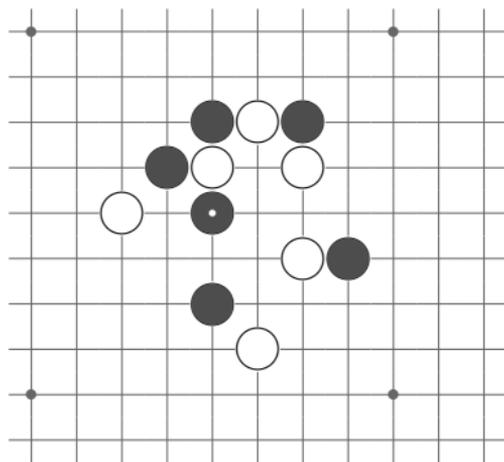
【問 3-15】白 3 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイは黒 3 と打たれ、黒勝ち
 となります。初手で 3 は、黒 1 です。



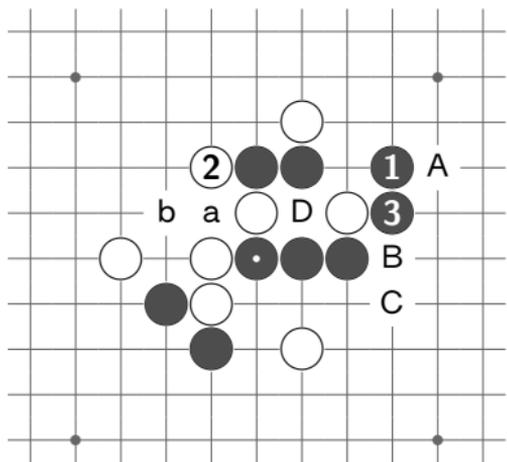
【問 3-16】黒 3 後、A または B の四三
 勝ち。白 2 で他は、同じ、(イ (C D))
 または ‘C 後 D’ の四三勝ち。



【問 3-17：黒先】白の防ぎに応じて…。



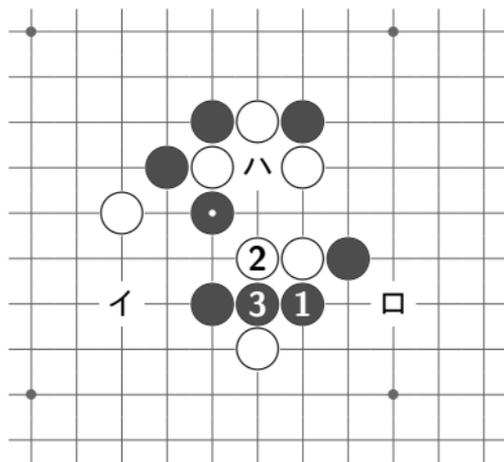
【問 3-18：黒先】「四三の卵」を孵化させます。



【問 3-17】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、C 後 B の四三勝ち。

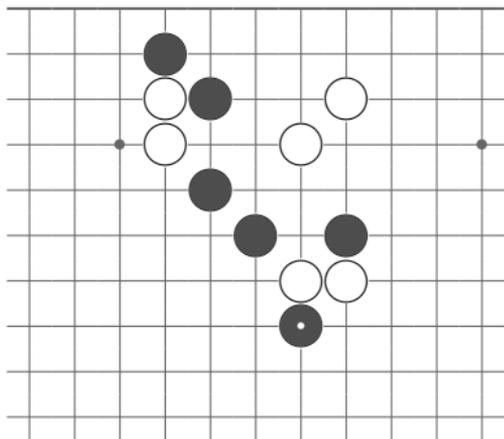
白の (a b) はノッています。

※ 初手あるいは 3 で D は、白 C と止められます。

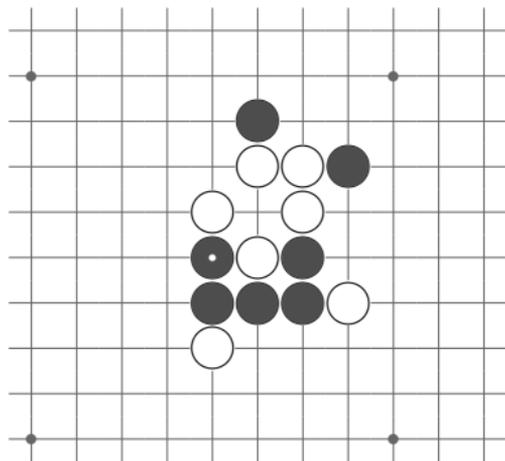


【問 3-18】黒 3 後、(イハ) または (ロハ) の四三勝ち。白 2 で他も同じ。

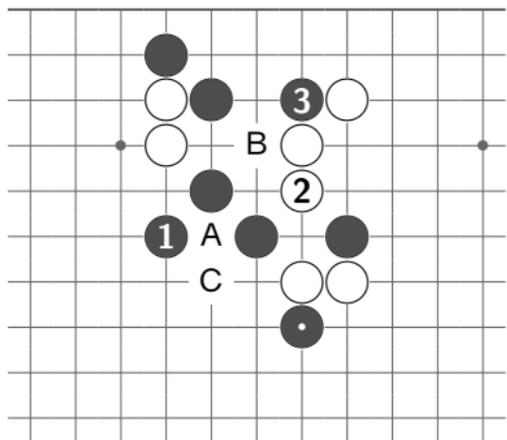
1・3 が、左あるいは右から同じ点で四三を作る好手順でした。



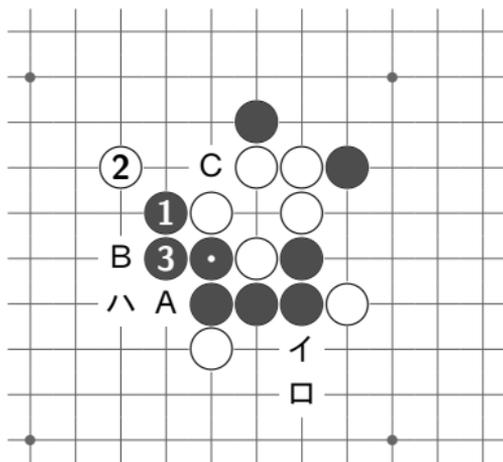
【問 3-19：黒先】斜めの線対称に近い形ですが、正解は1つです。



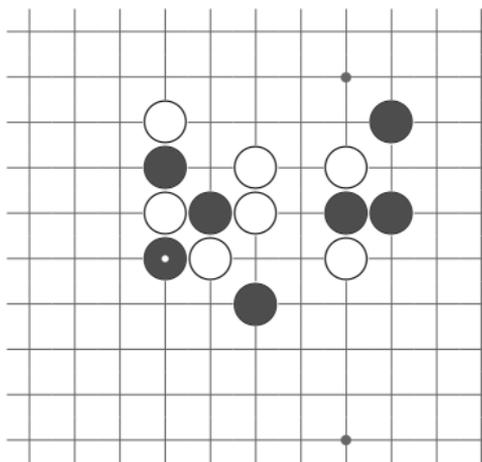
【問 3-20：黒先】止め方に応じて…。



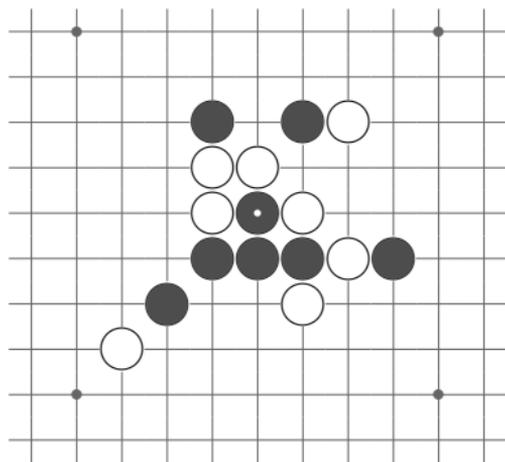
【問 3-19】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他は、A、B、(2 A) の四三勝ち、
 または (B 3) のノリ押さえ達四勝ち。
 # 黒 1 が両ミセですが、白 2 の好防
 でもう一手必要になります。
 ※ 初手で C は、白 B と防がれます。
 ※ 黒 3 で A は白勝ちです。



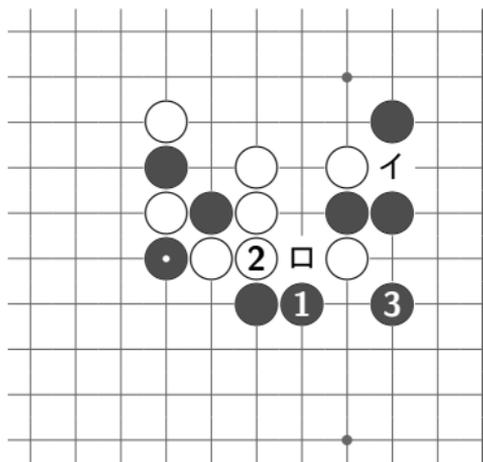
【問 3-20】黒 3 後、A または (イロ)
 の四三勝ち。白の四ノビは無効。白 2
 で反対は、B 後 (2 ハ) の四三勝ち。
 # 止め方に応じて攻めを変えます。
 ※ 白の四ノビを恐れて 3 で C と三を
 引くと、B と止められ勝てません。



【問 3-21：黒先】短い手数ですが、白も好形で、考えにくい問題です。



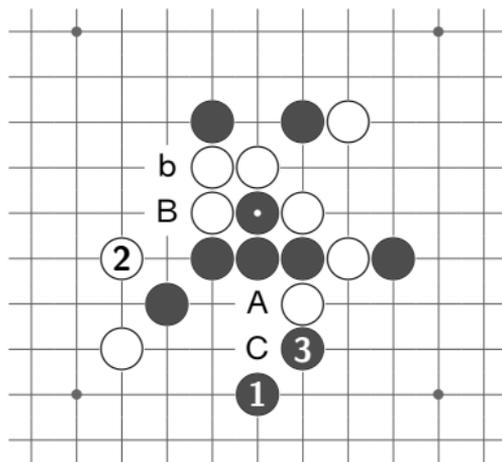
【問 3-22：黒先】好手らしい初手の候補はいくつかありますが、正解は1つです。



【問 3-21】黒 3 後、(イ) のノリ切り
達四勝ち。白の四ノビは無効。

白 2 で他は、3 後イの四三勝ち。

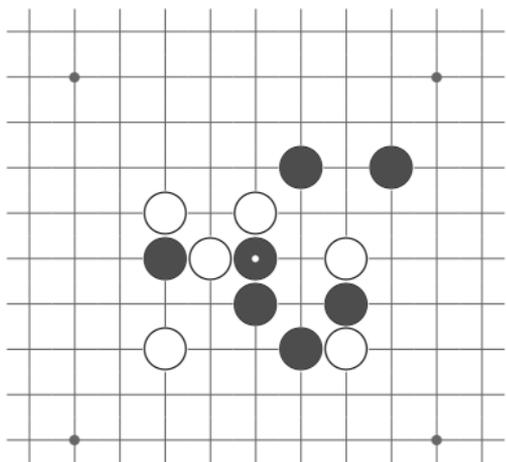
白 2 と止めて白に口の四三の点
ができますが、黒 3 はそれをノリつつの
三です。



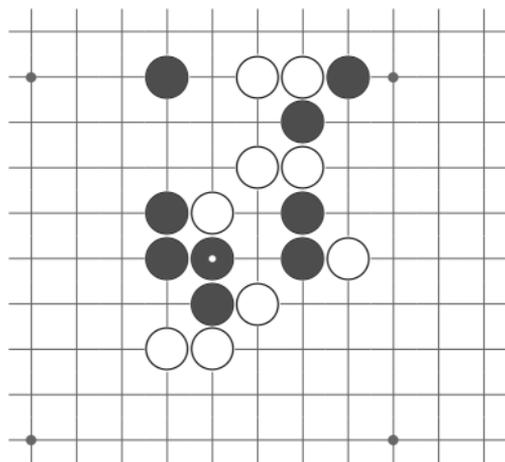
【問 3-22】黒 3 後、A の四三勝ち。
白 2 で他も同じ。

※ 初手で A は白 C、B は白 b、C は
白 1 と防がれます。

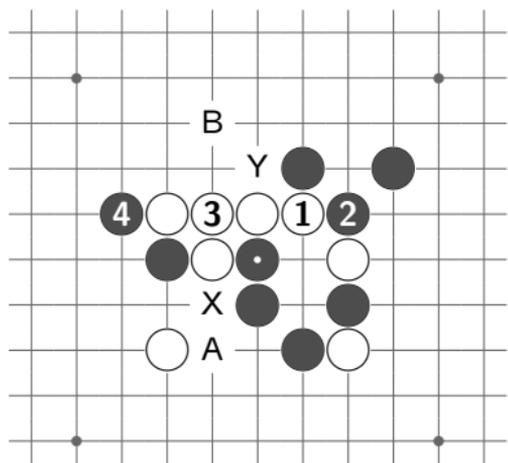
※ 初手から 2・1 の攻めは、白に自然
に止められて四三が残り失敗。



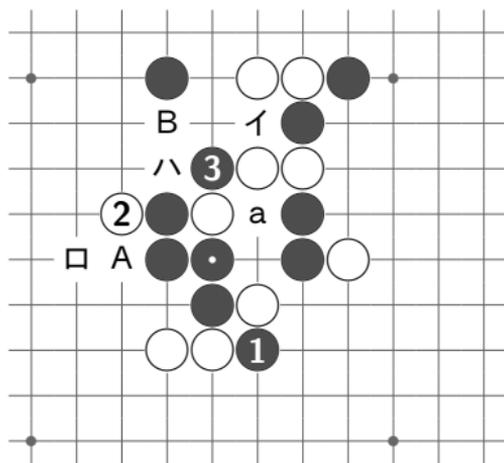
【問 3-23：白先】三々禁を狙います。



【問 3-24：黒先】白のノリ手に注意しましょう。



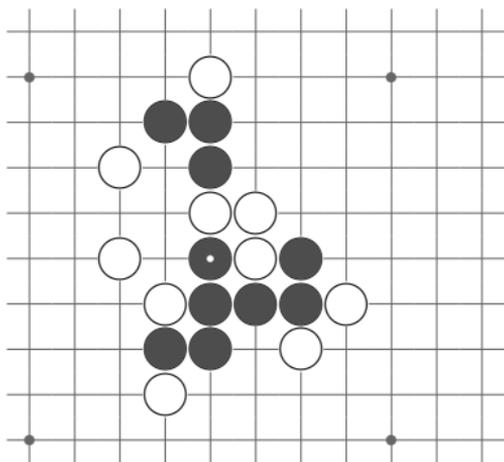
【問 3-23】白 3 として黒 4 と打たせ、黒の三を止めつつの A で X 点三々禁。黒 2 が他は、直ちにあるいは 3 に打たせ B で Y 点三々禁。



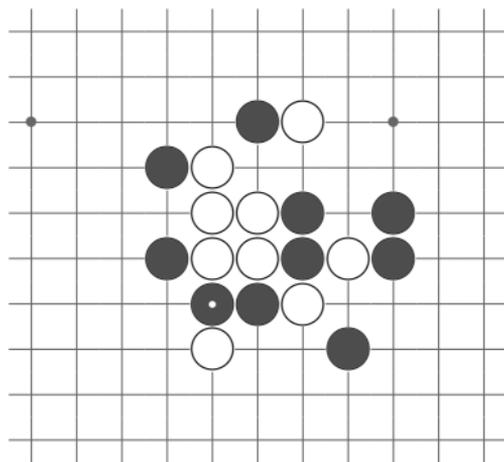
【問 3-24】黒 3 後、A、B または (A イ B) の四三勝ち。白 2 反対は、(A 口 2 ハ) の四三勝ち。

白 a のノリ手防ぎの一端を予め止めておく黒 1 が好手です。

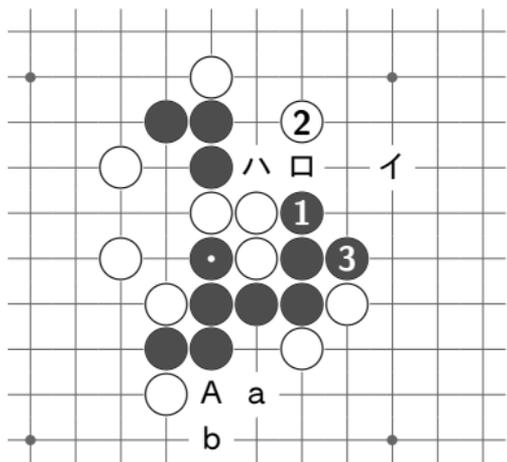
※ 初手で 2 は白 1、3 の両ミセは白 a、イは白 3 またはハと防がれます。



【問 3-25：黒先】 次の狙いを見ての手が効果的です。

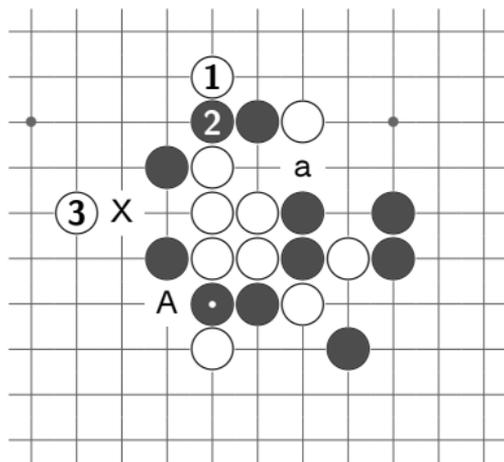


【問 3-26：白先】 白の特権を使います。白 3 で白勝ちがはっきりします (詰連珠としての手数はもう少し長めです)。



【問 3-25】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他は、同じか、2 または (イロハ) の四三勝ち。

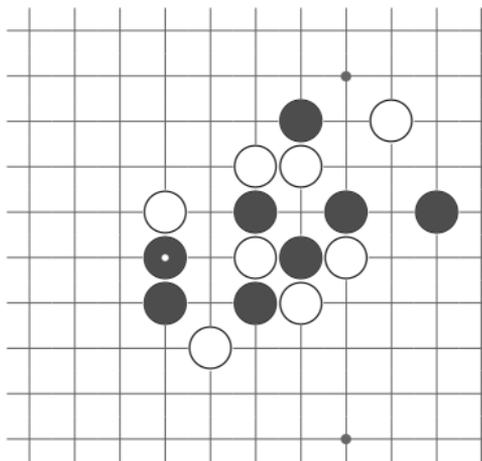
※ 初手で 3 は、白 a または b で逆転
 です。



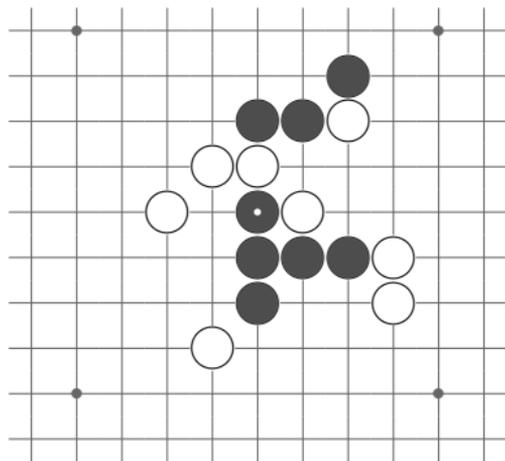
【問 3-26】白 3 まで、X 点三々禁と A
 点三々勝ちとの見合いによる白勝ち。

詰連珠の解としては、黒の三々禁
 逃れの手、(必要ならば) 白 X の四ノ
 ビ、白 A の三々勝ちとなります。

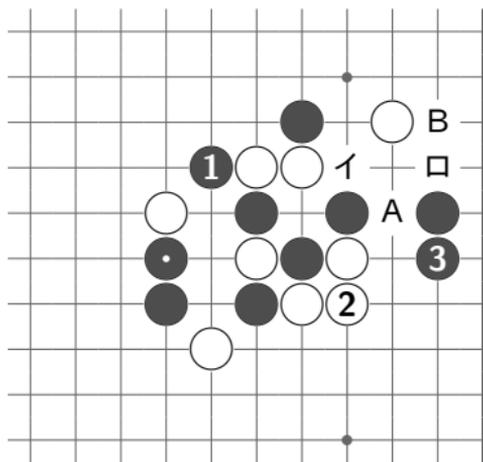
※ 初手または 3 で A は、黒 a と止め
 られます。



【問 3-27：黒先】最初に目につく両ミセには、ノリ手防ぎがあります。

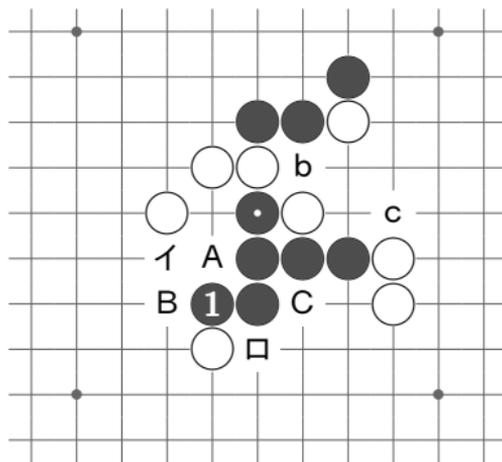


【問 3-28：黒先】初手の妙手で決まりです。



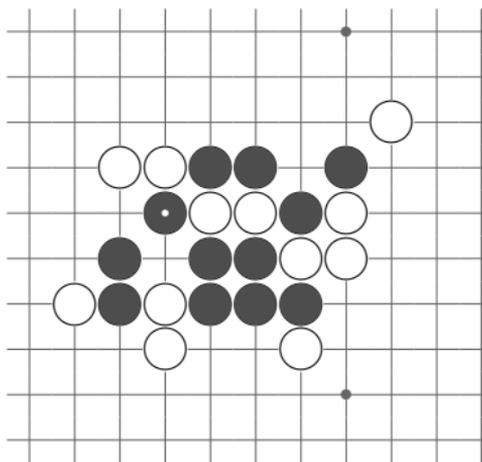
【問 3-27】黒 3 後、A または B の四三勝ち、(A イ) のノリ切り達四勝ち、あるいは (B ロ) のノリ押さえ達四勝ち。

※ 最初に 3 は、白イと防がれます。
黒 1 は予めノリ手の一方を止めておく「事前工作」の手筋です。

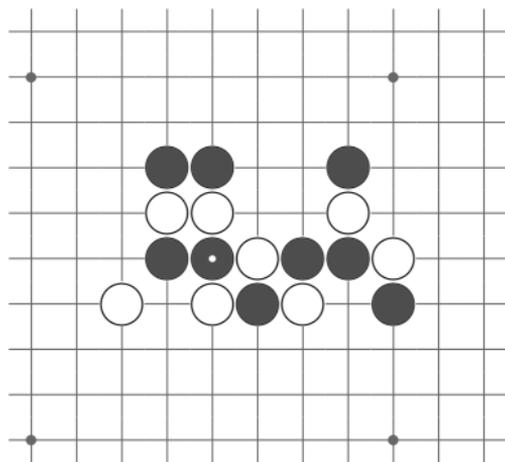


【問 3-28】黒 1 の (イロ) のフクミ手が妙手で、白がどこに防いでも 'B 後 A' か 'C 後ロ' で四三勝ちです。

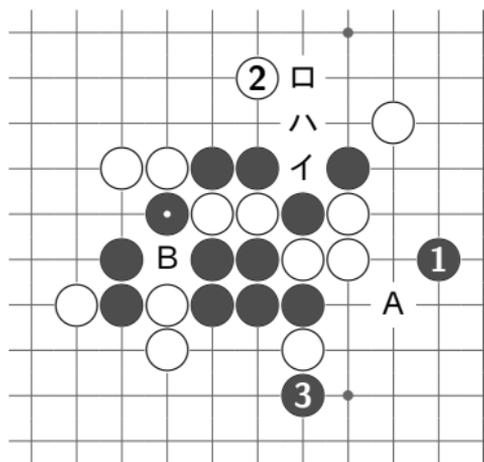
※ 初手で B は白 b、C は白 c と、三で防がれる手があります。



【問 3-29：黒先】黒の分散した勢力を何とかします。

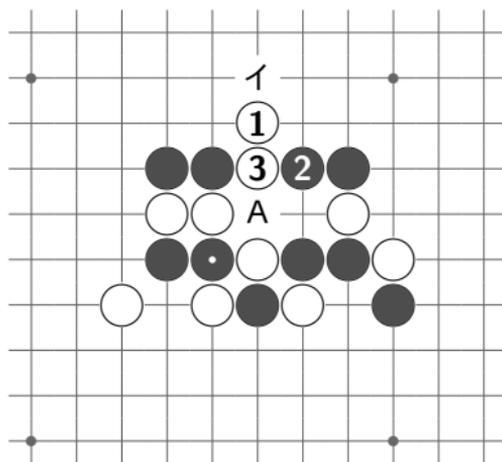


【問 3-30：白先】黒には四三の点がありますが、うまく勝って下さい。



【問 3-29】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、同じ、または (イロハ) の四三勝ち。

途中で四ノビすると勝てなくなります。

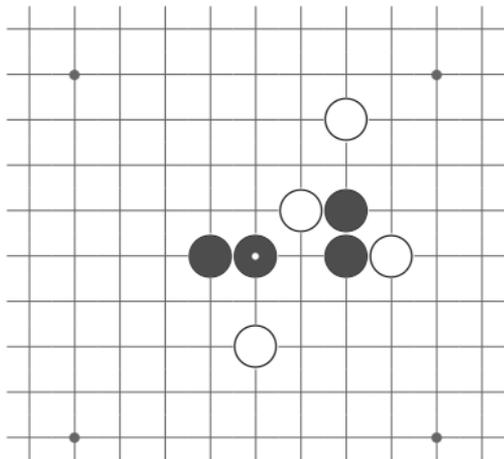


【問 3-30】白 3 まで、A 点で白の四々勝ちと黒の三々禁が重なり、黒の防ぎはありません。黒 2 で他は、(A イ) で 3 の点が四々禁。

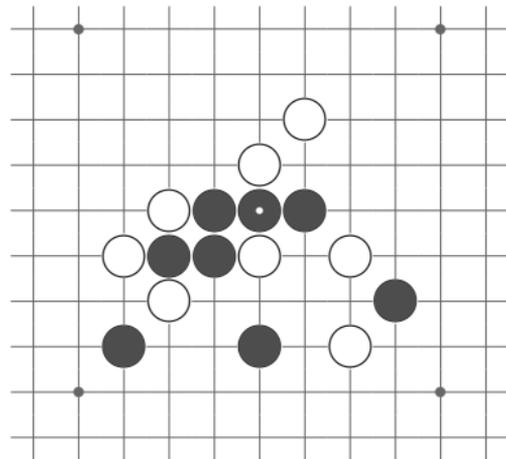
※ 初手で 3 や 2 等では勝てません。

白 1 は黒の四三をノリ手で防ぐ三です。

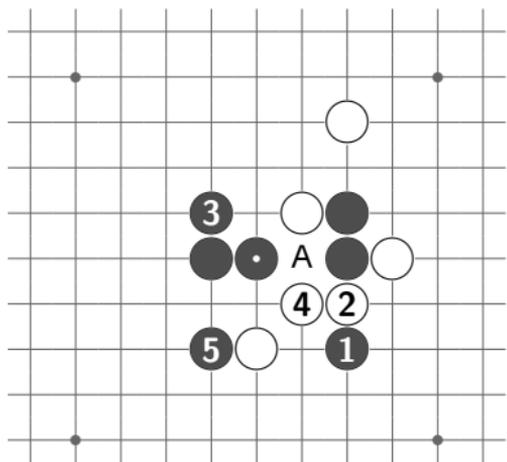
4 長めの詰連珠



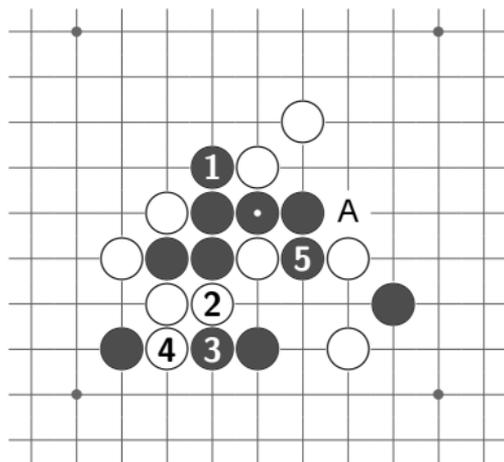
【問 4-1：黒先】「長めの……」ですが、練習問題です。



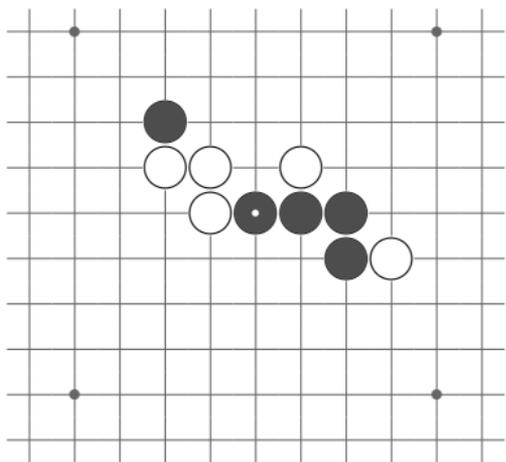
【問 4-2：黒先】これも「長めの……」ですが、基本問題です。



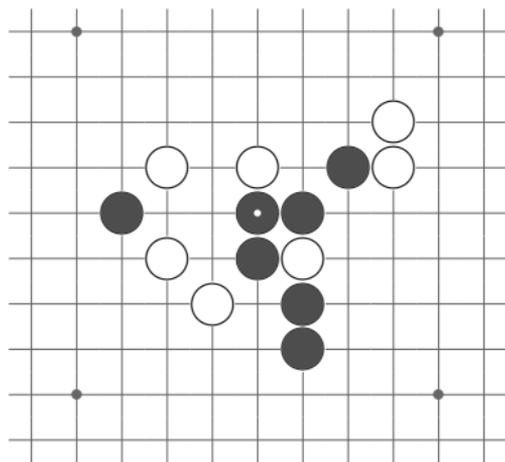
【問 4-1】黒 5 後、A の四三勝ち。
 白 2, 4 で他にも同じ。
 # トビ三の練習問題でした。



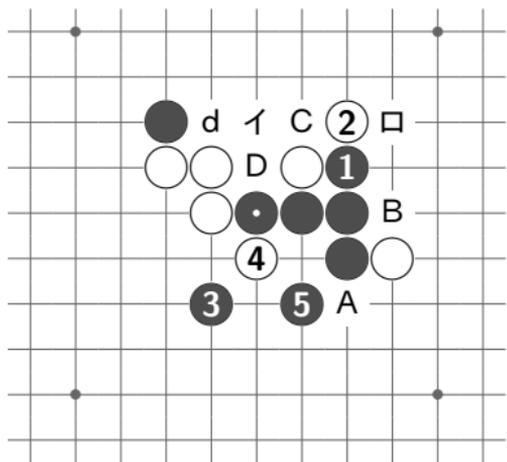
【問 4-2】黒 5 後、A の四三勝ち。
 白 4 で他にも同じ。白 2 で反対は、2 (ま
 たは 3) の四三勝ち。
 # 3 と 5 の手順前後は不可です。



【問 4-3：黒先】白の三を止めて下さい。ノッた後に白にノラれないよう、先手を取れるように打ちます。

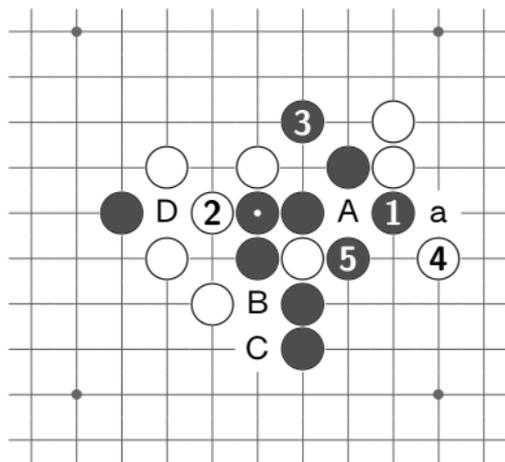


【問 4-4：黒先】四三となり得る点を確保しつつ打ち進めます。

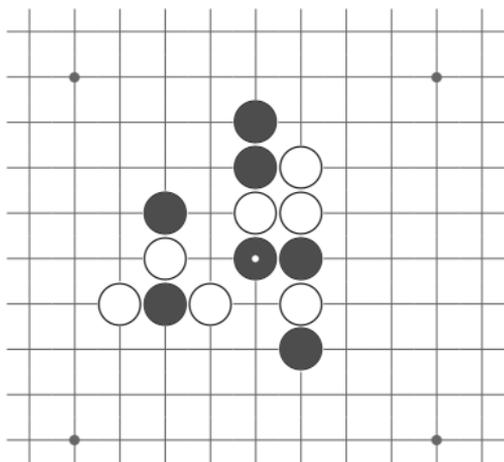


【問 4-3】黒 5 後 A または B の四三勝ち。白 2 反対は、黒 C として B または (2 イロ) の四三勝ち。

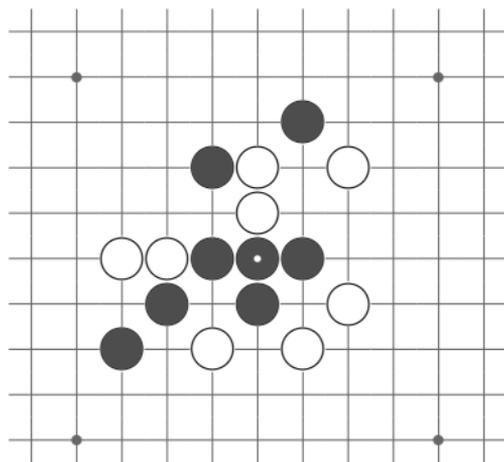
※ 初手で D も三ですが、それを止める白 d も三で、黒は先手を取れません。



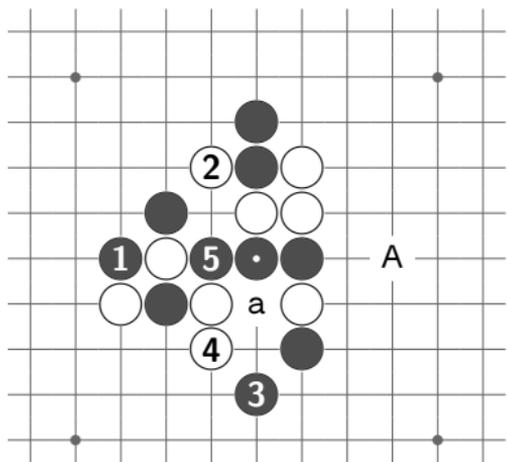
【問 4-4】黒 5 後、A の四三勝ち。白 4 反対も同じ。白 2 で他は、B 後 C または D の四三勝ち。



【問 4-5：黒先】グルッと。

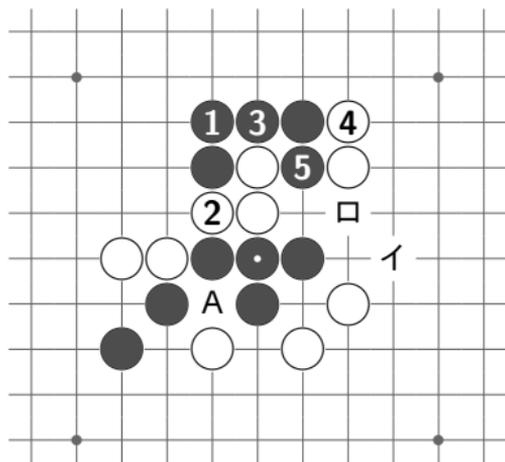


【問 4-6：黒先】素直な手順で攻めていきます。



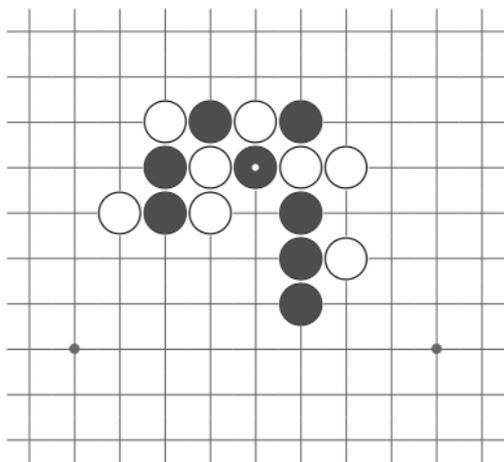
【問 4-5】黒 5 後、A の四三勝ち。
白 2, 4 で他も同じ。

※ 初手であるいは 3 で 5 と打つのは、
白 a と止められ勝てなくなります。

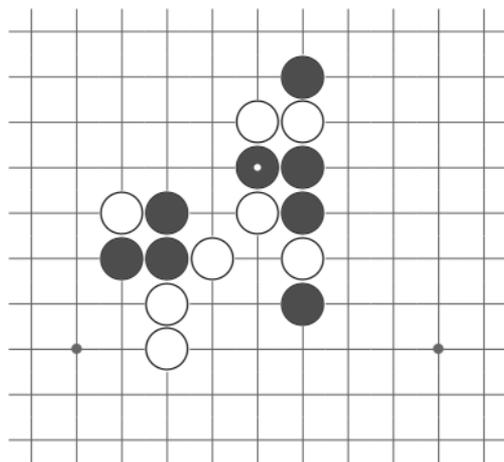


【問 4-6】黒 5 後、(イロ) のノリ切り
達四勝ち。白 4 で反対は、5 後イ。白
2 で他は A または同じ。

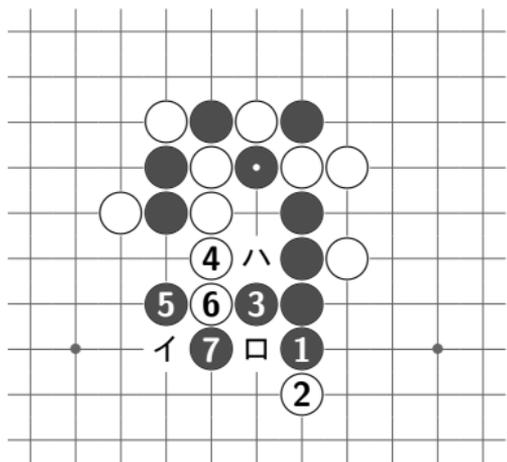
白 2・4 で口点に白の四三がしま
すが、ノッていて心配ありません。



【問 4-7：黒先】長めですが、自然な手順で進みます。白の変化も読み切ってください。



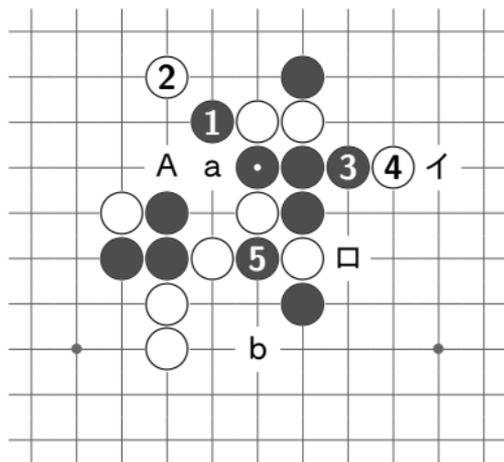
【問 4-8：黒先】2通りの‘三・四三’はいずれもノラれています。



【問 4-7】黒 7 後、(イロ) のノリ切り
達四勝ち。白の四ノビ無効。

白 4 で他も同様。白 6 で他は、(イ 6
ハロ) の四三勝ち。

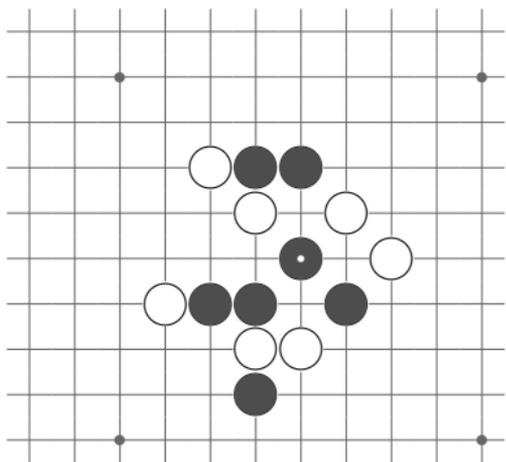
この手順でしか勝てません。



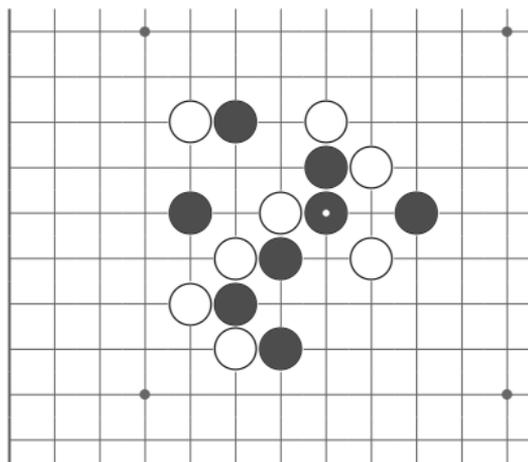
【問 4-8】黒 5 後、A の四三勝ち。
白 4 反対は (イロ)、白 2 反対は (2 A)
の四三勝ち。

※ 初手で 2 は白 1 と、A は白 a と防
がれます。

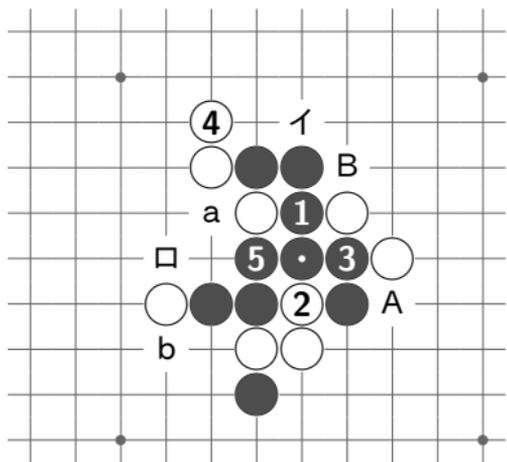
※ 黒 3 でイは、白 b と防がれます。



【問 4-9：黒先】防ぎ方にも注意を払って攻め手と手順を決めて下さい。

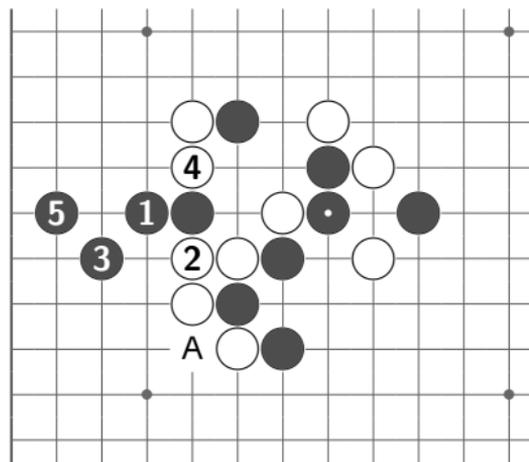


【問 4-10：黒先】四三となる点を目指して…。



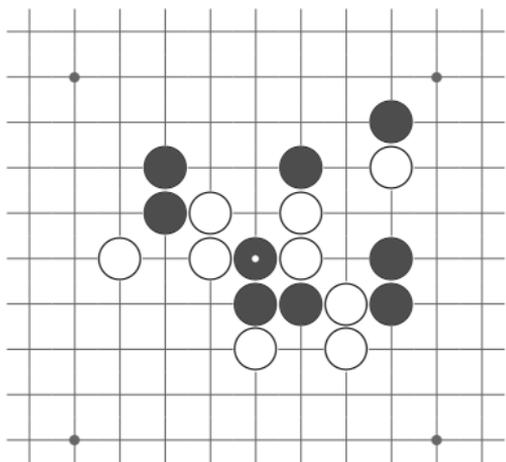
【問 4-9】黒 5 後、(イロ) の四三勝ち。
 白 4 で反対も同じ (口の両ミセも可)。
 白 2 で他は、A の四三。

※ 3 あるいは 5 で口は、白 a と防が
 れます。3 で 5 や B は、白 b と三で
 止められます。

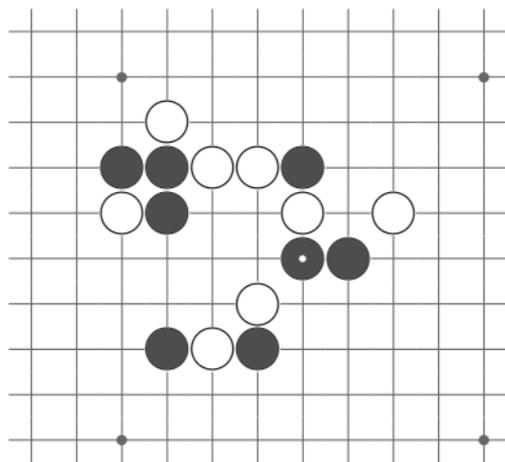


【問 4-10】黒 5 後、A の四三勝ち。
 白 2, 4 で他も同じ。

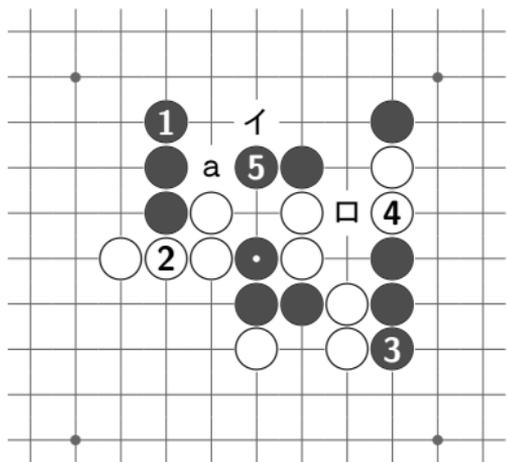
勝ちとなるのは、この手順だけで
 す。



【問 4-11：黒先】簡単には勝たせてもらえません。



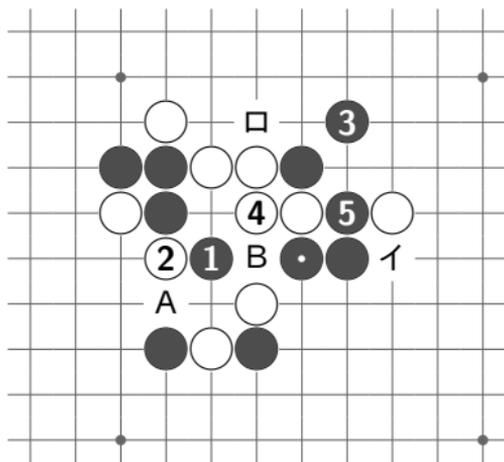
【問 4-12：黒先】巧みに打ちまわします。



【問 4-11】黒 5 後、(イロ) のノリ切り
達四勝ち。白 4 で他は、5 後イの四三
勝ち。白 2 で他も同じ。

ノラれている“5 後イ”をノラれな
いように事前工作しています。

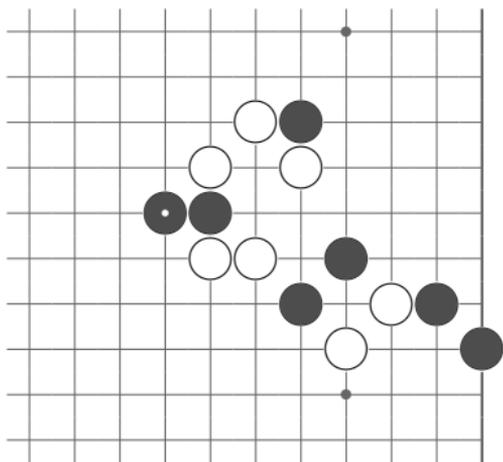
※ 初手で 3 は白 4、5 は白 a、イは白
ロで勝てません。



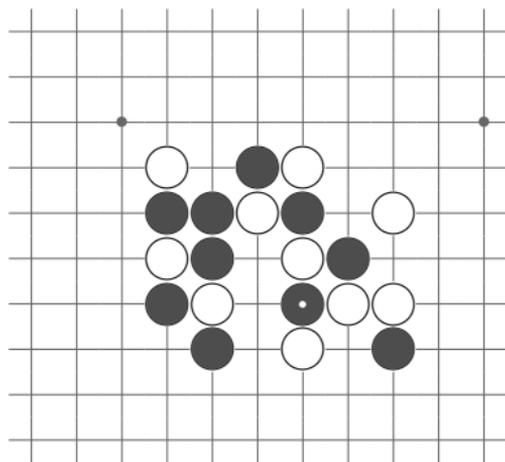
【問 4-12】黒 5 後、(イロ) のノリ押さ
え達四勝ち。白の四ノビは無効。

白 4 で他は、5 後イの四三勝ち。白 2
で他は、A の四三勝ち。

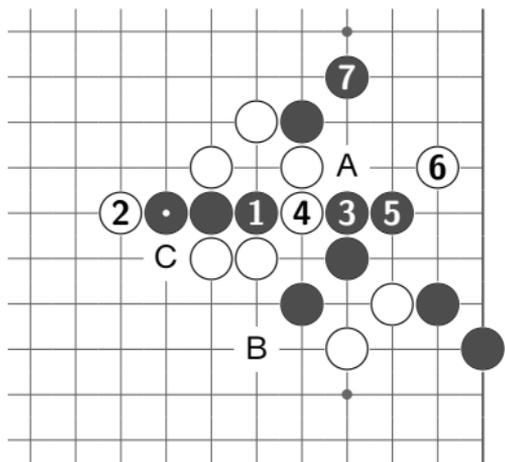
初手で B は、白イと止められます。



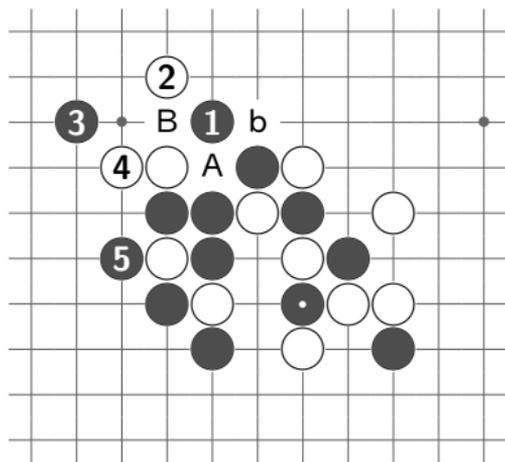
【問 4-13：黒先】妙手があるわけでは
ありませんが、手順はこれだけです。



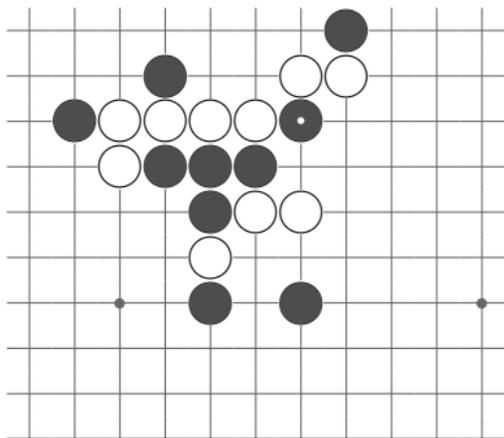
【問 4-14：黒先】簡単、と侮ってはい
けません。手順も重要。



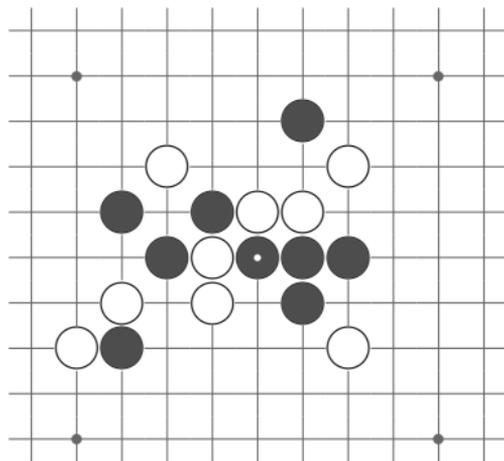
【問 4-13】黒 7 後、A の四三勝ち。
 白 6 で他も同じ。白 2 で反対は、B・
 C の三後 2 で四三勝ち。
 # 他の手順だと、白のノリ手がある
 等で勝てません。



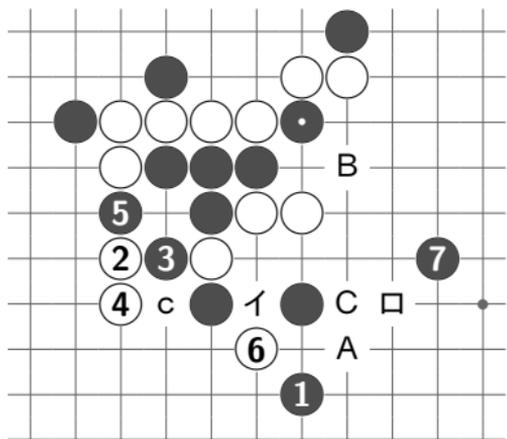
【問 4-14】黒 5 後、A の四三勝ち。
 # 黒 1 と 3 は、白の四ノビによる防ぎ
 を無効にさせる事前工作の手筋です。
 # 黒 5 は白の四追いをノッています。
 ※ 初手または 3 で 5 は白 A、初手で
 3 や 4 は白 B と四ノビされます。黒 5
 で B は、白 b と止められます。



【問 4-15：黒先】 白の強防に四追いが残るように打ちます。

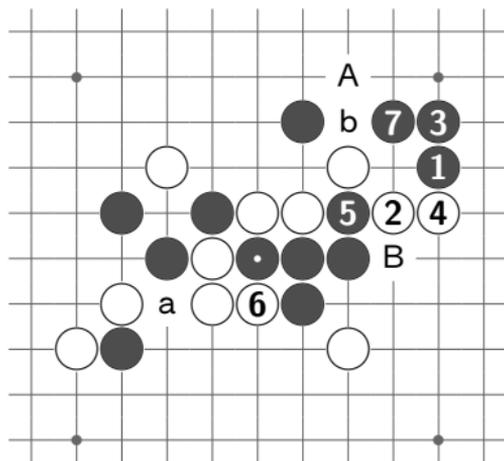


【問 4-16：黒先】 攻めの方向は見えるでしょうが、どう攻めるのでしょうか。



【問 4-15】黒 7 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他は、同様、直ちに 7 の両ミセ、または 5 の防ぎに (4 イロ A) で四三勝ち。

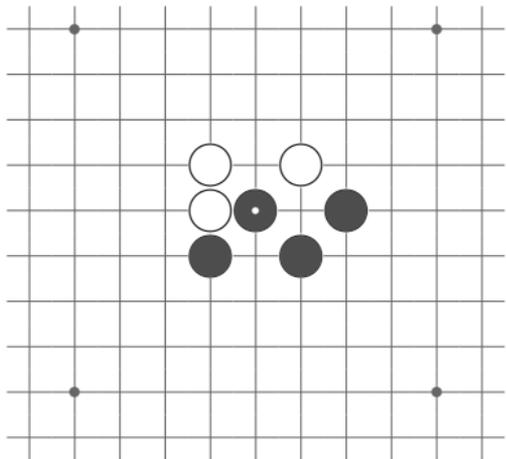
※ 初手を 6 だと白 5 と防がれ、四追いが残りません。初手 C には白 c と、イには白 C と止められます。



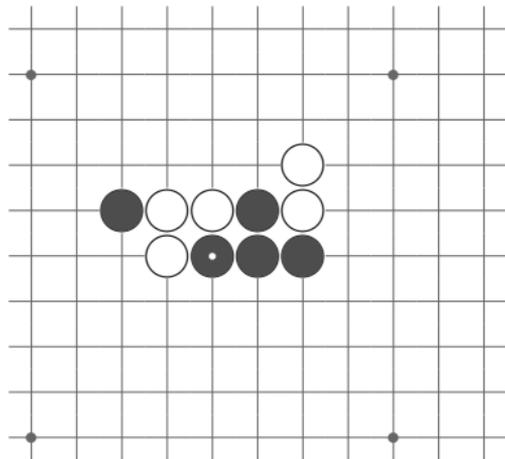
【問 4-16】黒 7 後、A の四三勝ち。白 (a b) での三止めは、黒に B ができるので無効。白 6 で他も同じ。白 4 で他は、7 後 A。白 2 で他は、黒 7 と打ち A または (2 B)。

白の剣先が気になり黒 3 は打ちづらい好手。

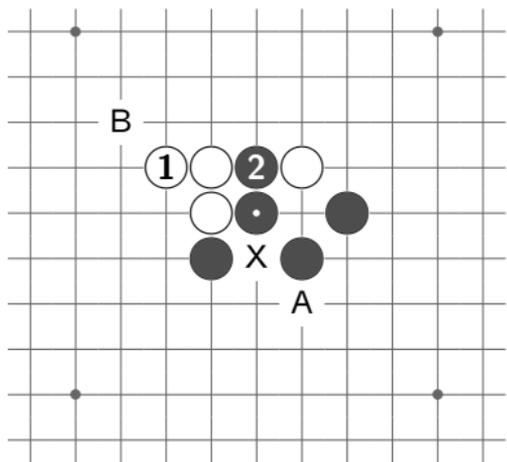
5 序盤の詰連珠



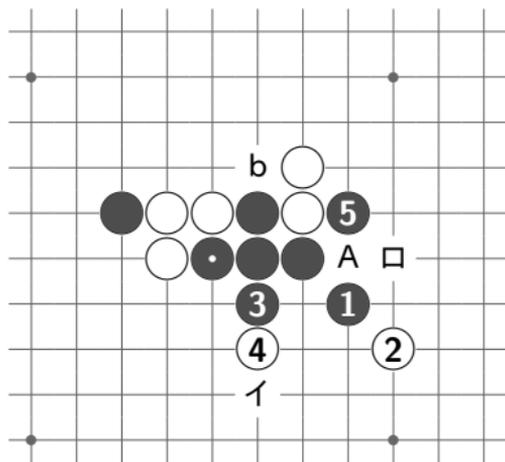
【問 5-1：白先】好形そうな黒ですが…。



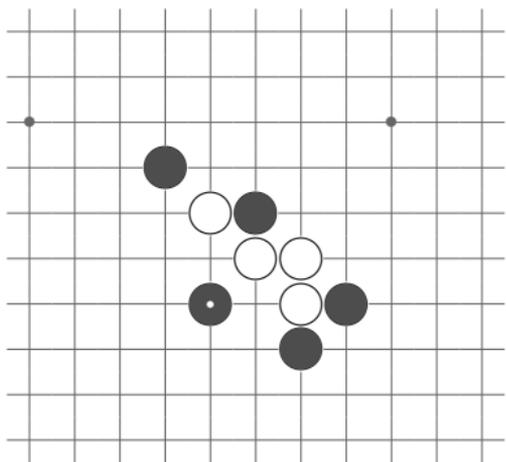
【問 5-2：黒先】正しい順序で攻めていきます。



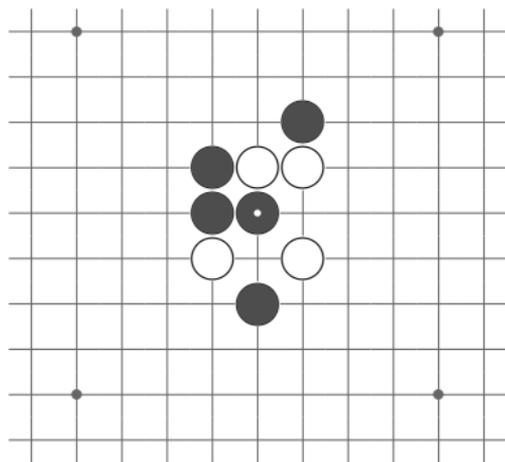
【問 5-1】白 1 で黒 2 と打たせ、白 A
 または B で X 点三々禁。
 黒 2 が他でも、白は四ノビで黒に 2 と
 打たせて同じことです。



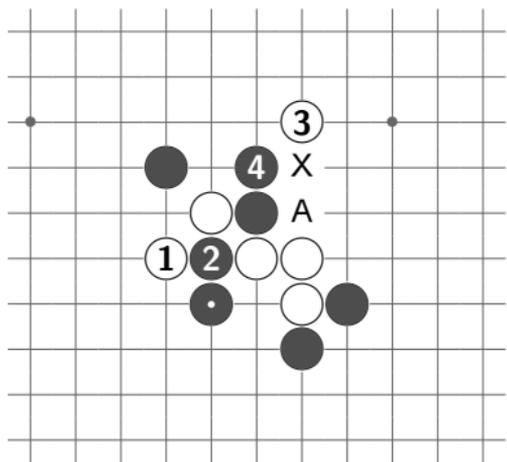
【問 5-2】黒 5 後、A の四三勝ち。
 白 4 反対は (イ口) の四三勝ち。白 2
 反対も同じ。
 # 黒 1 と 3 の順序は重要です。初手
 で 3 と打つと白 b とノラれます。



【問 5-3：白先】追詰めがあるよ、と言われないと、見落としてしまいそうな形です。

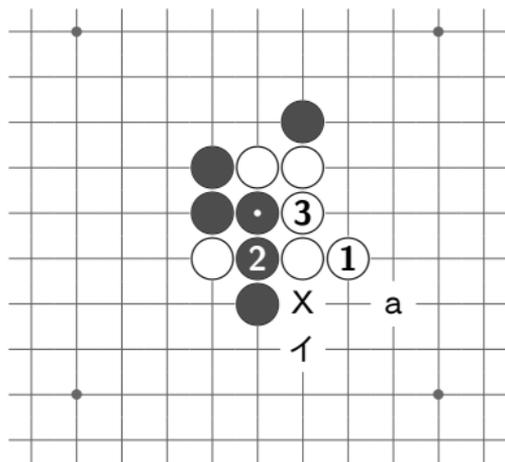


【問 5-4：白先】「白先で勝ちがあります」がヒント。



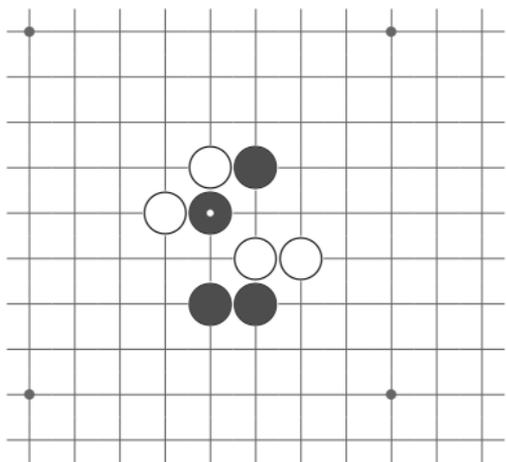
【問 5-3】白 1・3 で黒 2・4 と打たせ、
A として X 点三々禁。

黒 2, 4 で他も、四ノビでそこに打た
せることで同様の勝ち。

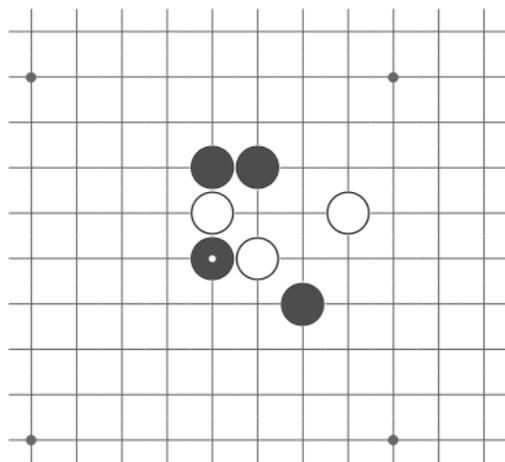


【問 5-4】白 1・3 と三を作り、2・a に
黒石を置かせ、イで X 点三々禁。

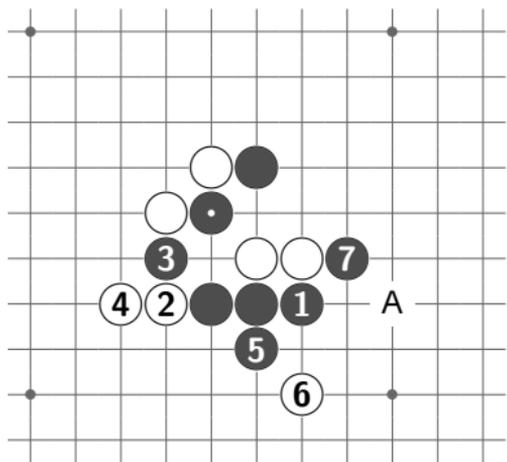
一見なさそうな所にも三々禁は潜
んでいます。



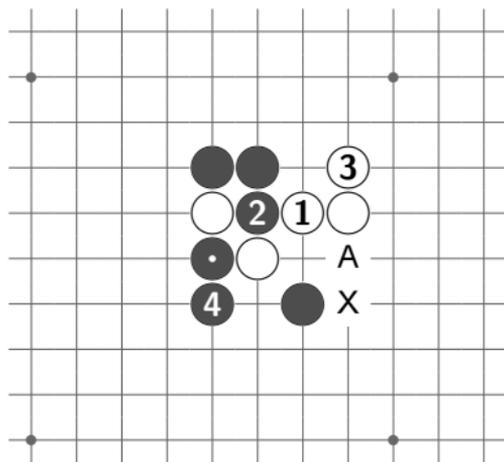
【問 5-5：黒先】素直な手順で勝ちに至ります。



【問 5-6：白先】どこかを禁手にします。

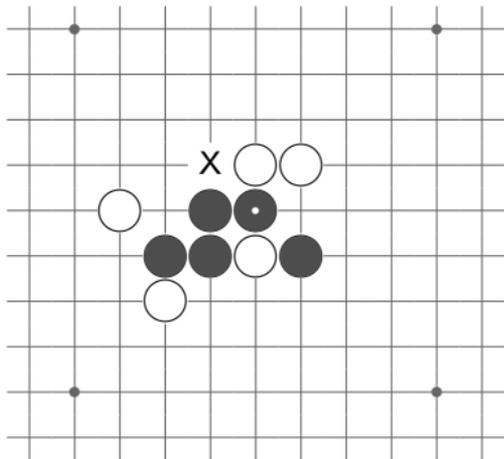


【問 5-5】黒 7 後 A の四三勝ち。
 白 4, 6 反対も同じ (他の勝ち方も可能)。白 2 反対は 4。

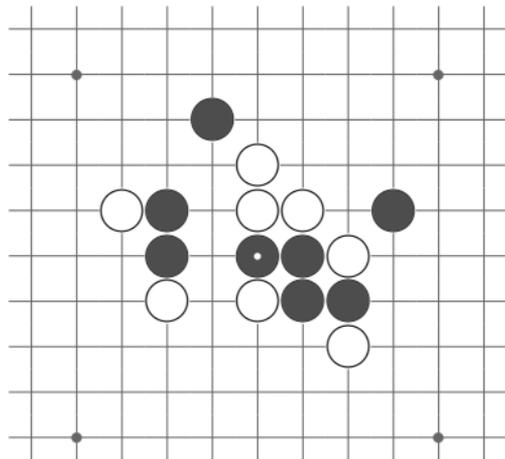


【問 5-6】白 1・3 で黒 2・4 と打たせ、
 白 A にて X 点三々禁。
 黒 2, 4 で他も、四ノビでそこに打たせ、同様の勝ち。
 # 黒 2 で他は、他の勝ち方もあります。

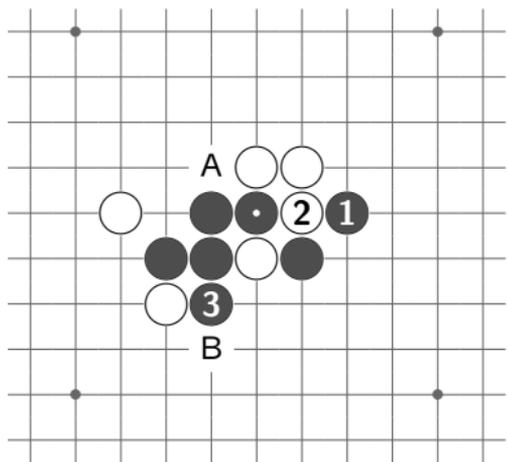
6 ひとめの詰連珠



【問 6-1：黒先】白は X 点で三々禁にハメようと狙っていますが、手番は黒でむしろ黒のチャンスです。

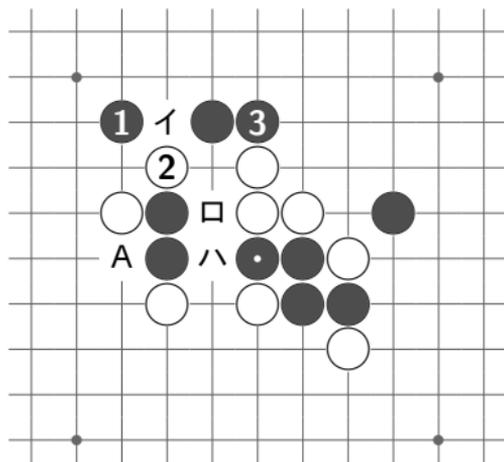


【問 6-2：黒先】妙手で決まりです。



【問 6-1】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他も同じ。

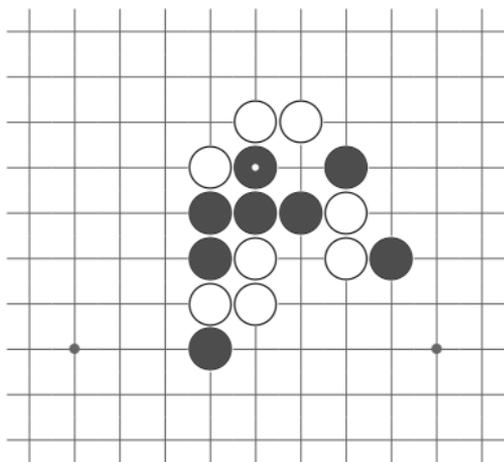
『三々は四三の卵』の格言通り、A 点も B 点も三々変じて四三となりました。



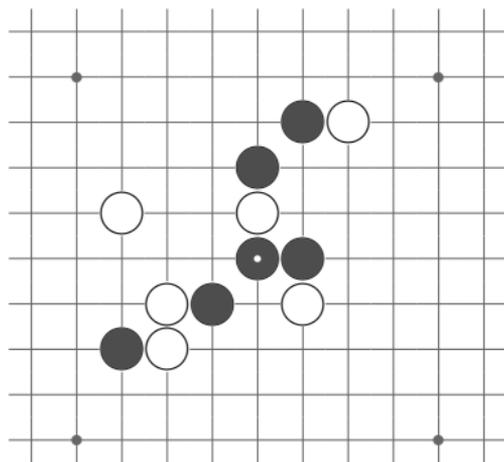
【問 6-2】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で他は、同じ、(2 イ)、または(ロハ)の四三勝ち。

いくつかの勝ち筋を睨んだ黒 1 の妙手で決まりです。

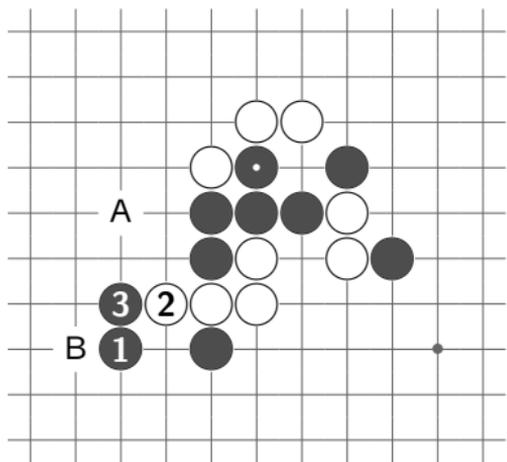
※ 初手で 2 やイには、白 1 です。



【問 6-3：黒先】思い切って…

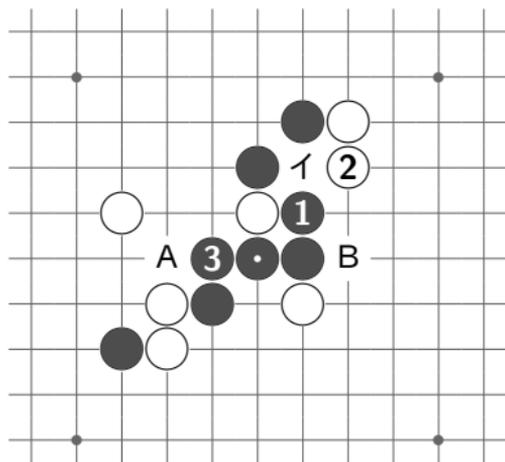


【問 6-4：黒先】白の剣先を役立たずに。



【問 6-3】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 で他も同じ。

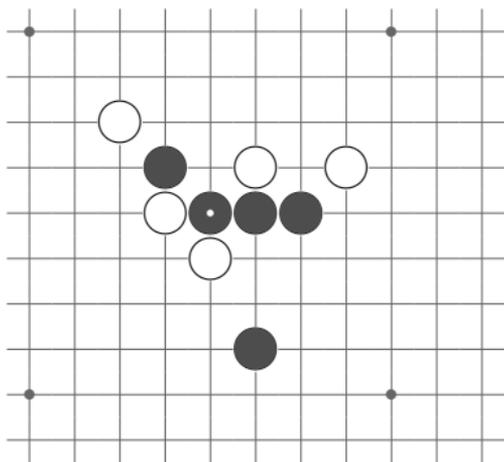
相手に三ができてその後の形が見えれば恐れることはありません。



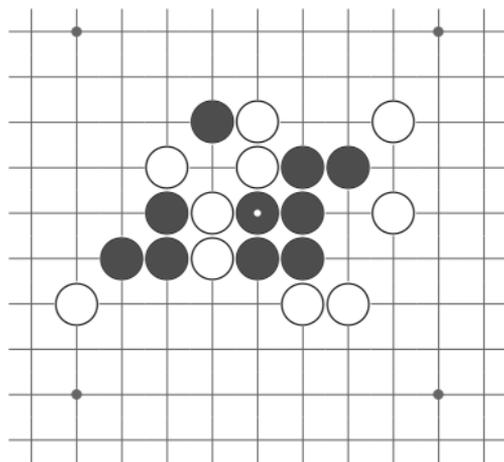
【問 6-4】黒 3 後、A または B の四三勝ち。白 2 が他も、同じまたは (イ 2) の四三勝ち。

両側に四三の卵である三々の点を作るフクミ手の 1 が好手です。

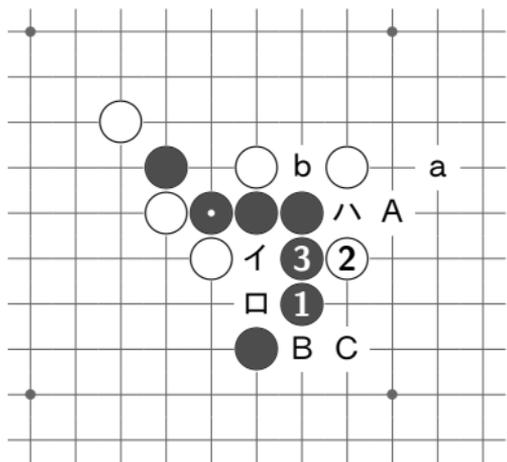
※ 初手でイや 2 もフクミ手ですが、白 1 と防がれます。



【問 6-5：黒先】初手は“ひとめ”で
しょうが、2手目は少しだけ考えて下
さい。

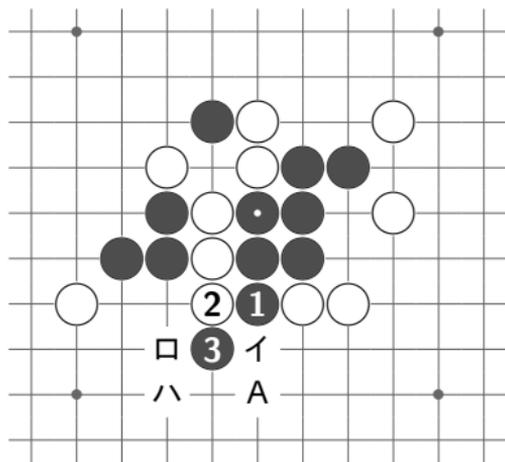


【問 6-6：黒先】複数の勝ち筋に気付
いてここに眼が行けばたいしたもの。



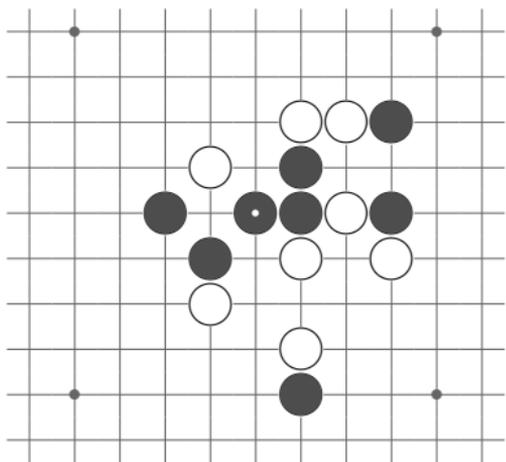
【問 6-5】黒 3 後、(イロハ) の四三勝ち。白 2 で他は、A または 'B 後 C' の四三勝ち。白 2 が a で黒 B に白 b の四ノビは、新たにハが残り無効。

※ 黒 3 で B は、白 3 とノリ手で止められ勝てません。

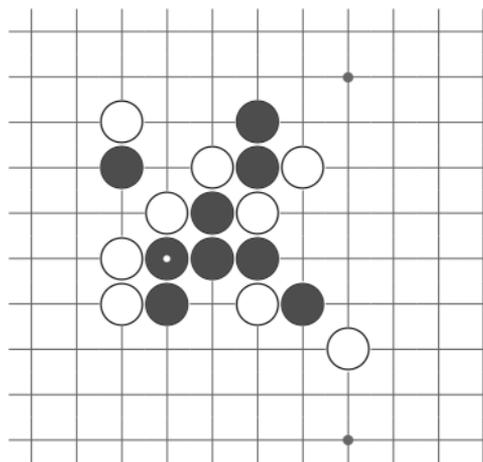


【問 6-6】黒 3 後、A の四三勝ち。白 2 で他は、(2 イ)、(ロハ)、または同じ。

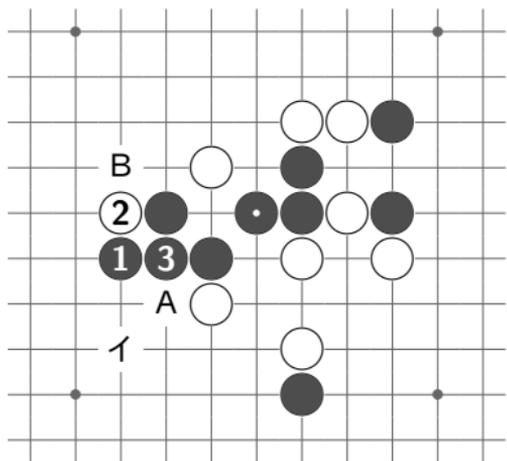
※ 初手で 3 は、白 1 と防がれます。



【問 6-7：黒先】白からの反撃を受けない好手があります。

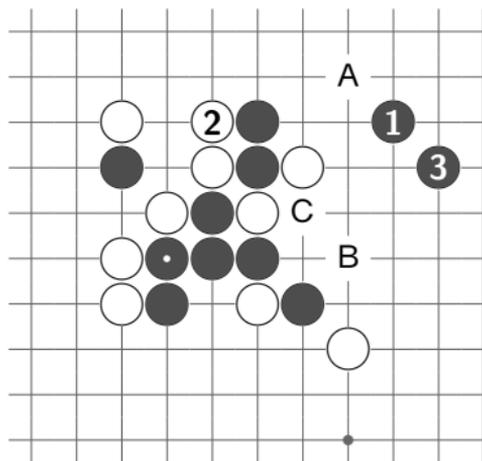


【問 6-8：黒先】ミセ手が活躍します。



【問 6-7】黒 3 後、A の四三勝ち。
 白 2 で他は、同じ、(2 イ)、または 'B
 後 2' の四三勝ち。

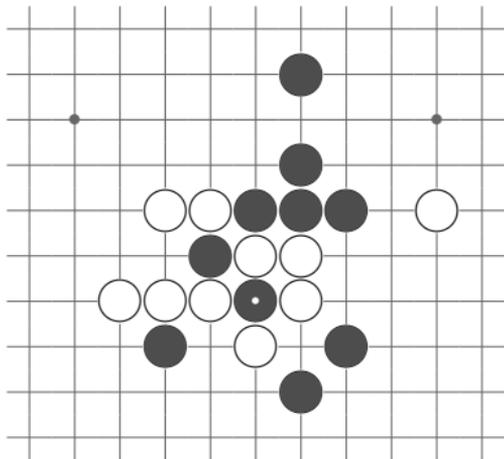
※ 初手で 3 は A と止められ、次の攻
 めには白の反撃があります。初手で三
 や四を作ると勝てなくなります。



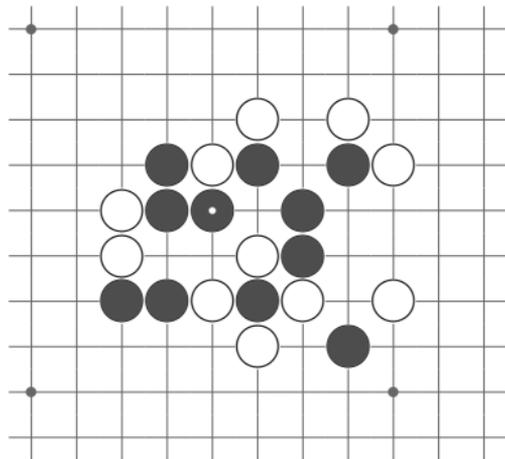
【問 6-8】黒 3 後、A または B の四
 三勝ち。白 2 で他は、C 後 B の四三
 勝ち。

ミセ手の威力を示す典型例です。

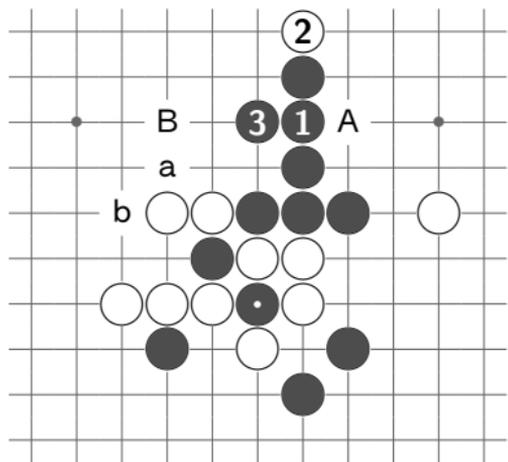
7 逆転の詰連珠



【問 7-1：黒先】白の四追いにどう対処しましょうか。



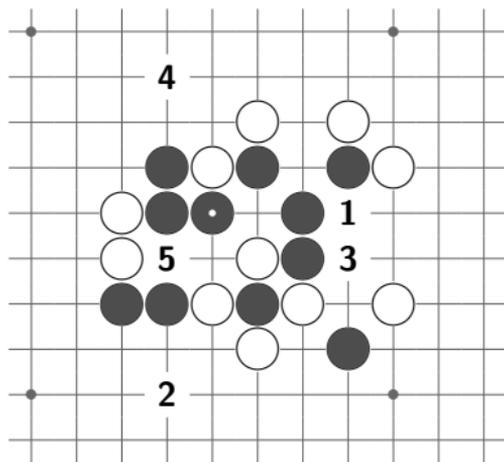
【問 7-2：黒先】四々禁を狙われています。四追いで何とかします。



【問 7-1】黒 3 後、A の四三勝ち。

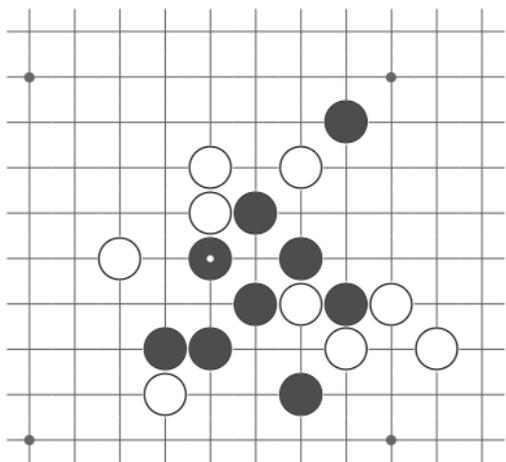
黒 1・3 の連でノリ手を作り、白は手が出なくなりました。

※ 黒 B も有力そうですが、白 a・b と黒の四追いをノリ手で防ぐ両ミセ手で白勝ちとなります。

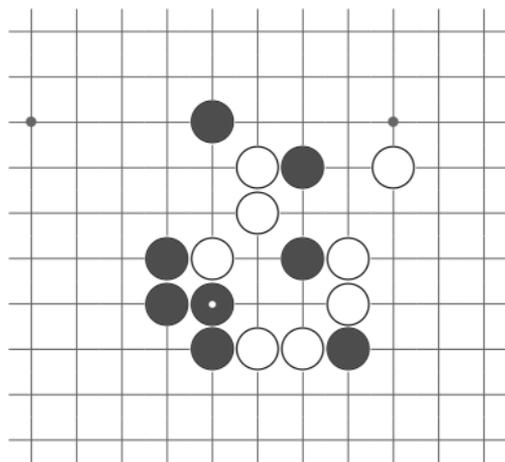


【問 7-2】黒 1~5 の四追いで達四勝ち。

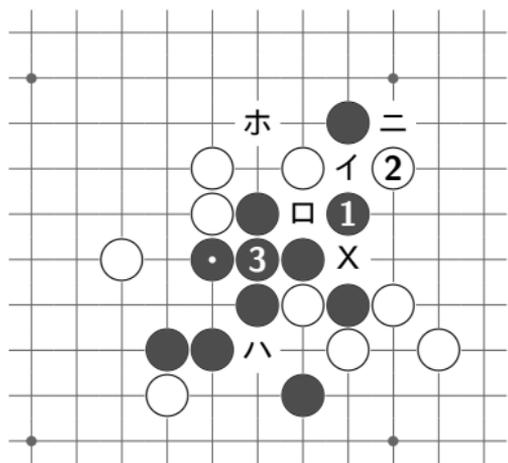
四々の一方の四を、両端長連筋にして四でなくすことで、四々禁を解除しています。



【問 7-3：黒先】三々禁を打たされそうですが…。

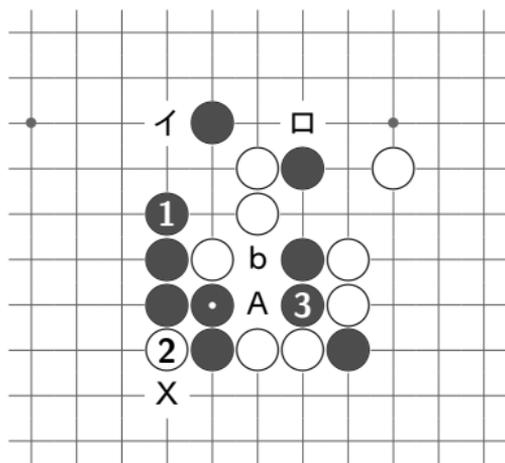


【問 7-4：黒先】白の四三の点と黒の三々禁の点が重なっています。逃れる手はあるのでしょうか。



【問 7-3】黒 3 後、(イロハ) または (イロニホ) の四三勝ち。

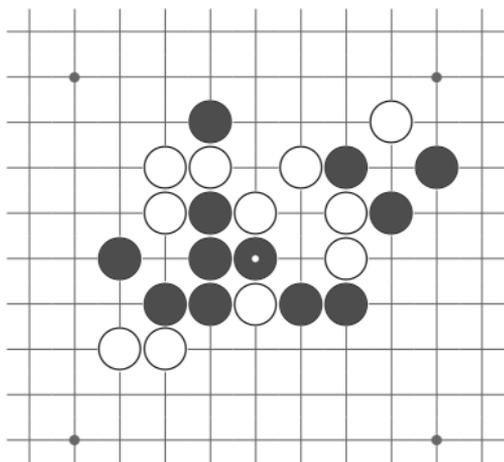
黒 3 は、X 点が四々のため横が三でなく、禁手ではありません。



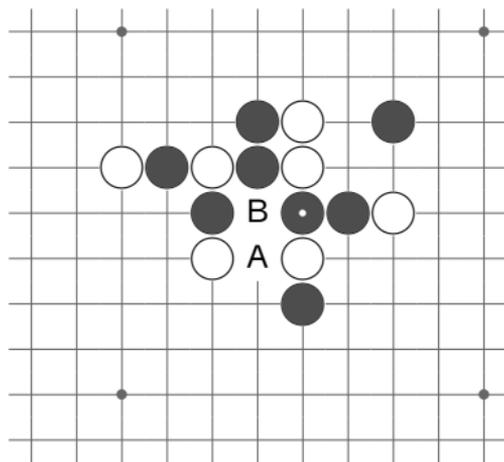
【問 7-4】黒 3 後、A または (イロ) の四三勝ち。白 A の四ノビは新たな三ができ、無効。白 2 で A の四ノビ後の 2 は、ロ後イ。

白 2 で b として A と打たせても、X 点四々のため斜めが三でなく、否三々。

※ 黒 3 でロは、白 b で A 点三々禁。

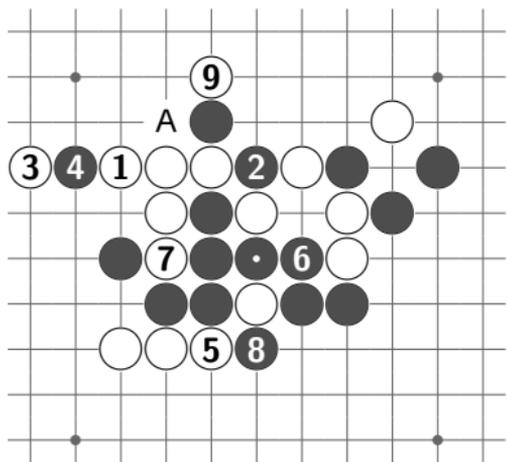


【問 7-5：白先】黒には三があり、四三の点もあります。投了でしょうか。長めですが、ほぼ一直線です。



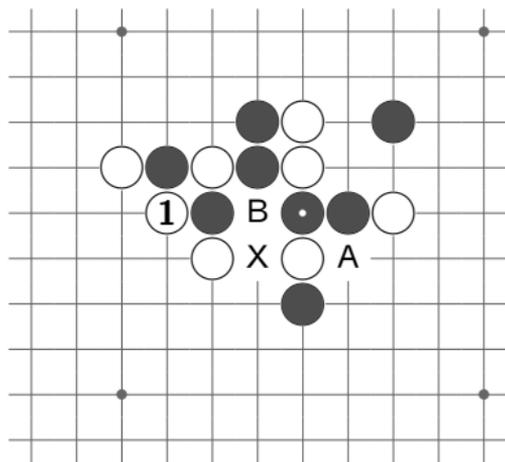
【問 7-6：白先】黒は斜めに三を作りました^a。

^a 次の黒 A は、B が四々の点になるので縦が三でなく、禁手ではありません。



【問 7-5】白 9 後、A の四三勝ち。
黒 8 反対も同じ。

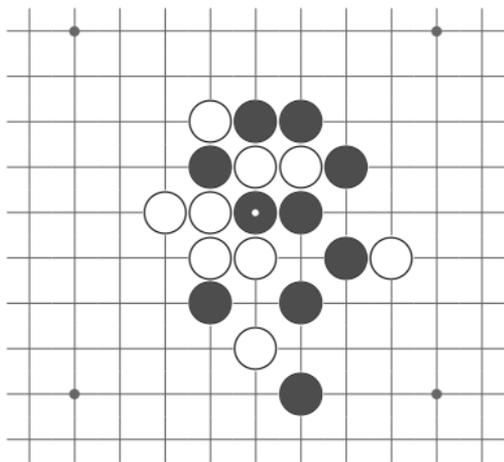
1・3 の四ノビで 7 の点が四三々となり、三を止める必要がなくなり、白 5 と黒の四三を防ぎながら三々を作ります。黒 6 はやむを得ません。



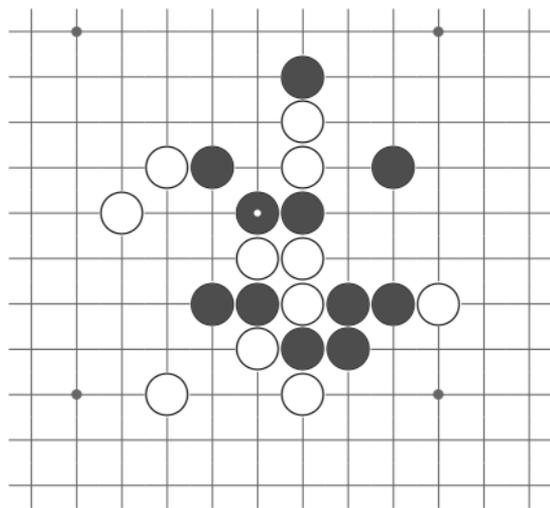
【問 7-6】白 1 の三に黒 2 がどちらでも
A で X 点四三々禁または四々三禁。

絶妙珠の白 1 によって X 点は四三々の禁点になり、白 1 は間接的に三を止めています。

※ 白 3 で B の三々は、X 点が解禁され、黒 X の達四です。

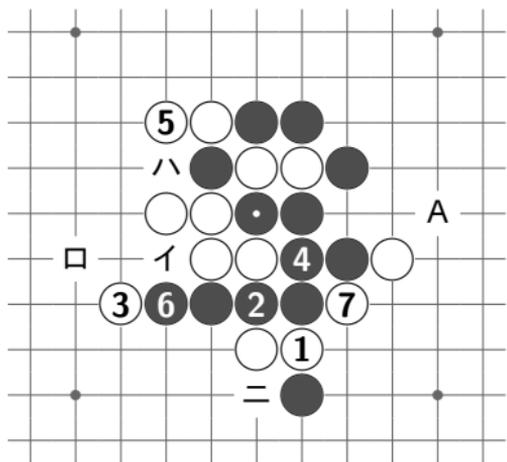


【問 7-7：白先】黒の攻めを巧みにかわしてゴール！



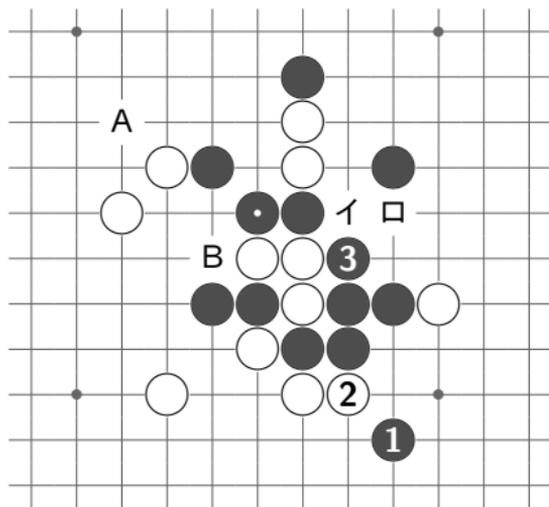
【問 7-8：黒先】三々禁の点があちこちにあり、三々禁を狙われてもいます。

連珠世界 2015 年 10 月号中級コースに掲載された問題です。



【問 7-7】白 7 後、(イロハ) の四三勝ち。黒 6 と黒 4 でイの四三を防ぐ他の手は、白 A で 7 点が四三々禁または四々三禁。黒 2 で他は、(2ニ)。

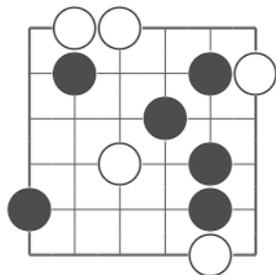
白 3 は、7 点が禁点であることを利用した夏止めの好手。



【問 7-8】黒 3 後、イまたは(イロ)の四三勝ち。白の四ノビ無効。白 2 で他は、2 の四三勝ち。

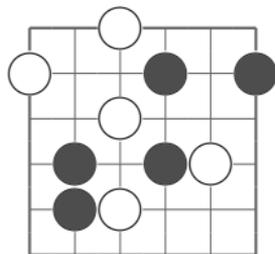
黒 1 後の白 A は B 点四々のため、黒 3 後の白 A はイ点四々のため、いずれも三々禁ではありません。

8 六路の詰連珠



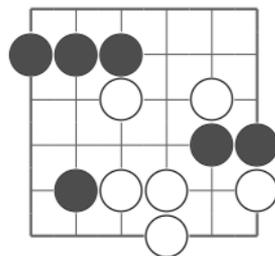
【問 8-1：黒先】

“三・四三” と思うのは
早合点です。



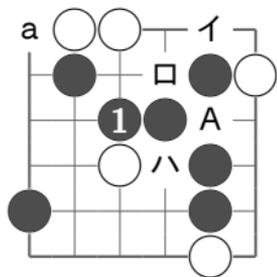
【問 8-2：黒先】

白の剣先を気にしながら
攻めます。

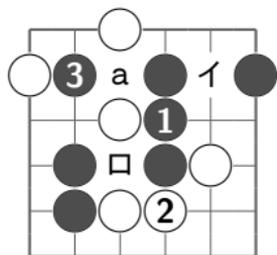


【問 8-3：黒先】

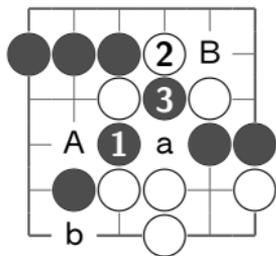
白の防ぎへの対応も考
えて好手を打ちます。



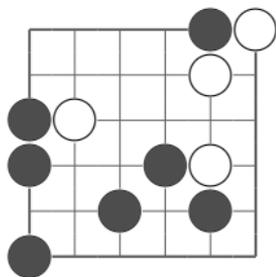
【問 8-1】黒 1 後、A または (イロハ) の四三勝ち。
黒 1 には白 a が強防ですが、四追いになります。



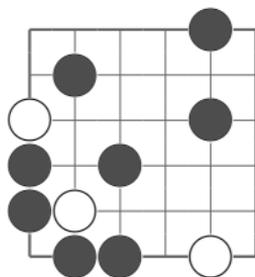
【問 8-2】黒 3 後、(イロ) のノリ切り達四勝ち。
白 2 と 4 での四ノビは無効。白 2 で他も同じ。
※ 初手で 3 は、白 a と四ノビされます。



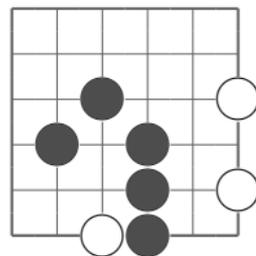
【問 8-3】A または B の両ミセの黒 1 に対し、白 2 なら 3 の三後 A。2 で 3 なら (2 A)、a なら (B 3)、他なら A または B。
※ 初手で A は白 b のノリ手、3 で A は白 a・b の四ノビで防がれます。



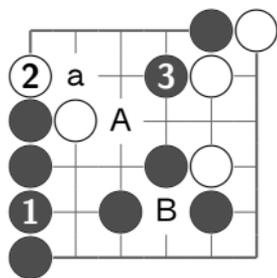
【問 8-4：黒先】
ミセ手の威力が発揮されます。



【問 8-5：黒先】
急所の一手です。



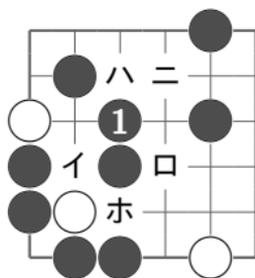
【問 8-6：黒先】
スキを見せないで攻めていきます。



【問 8-4】黒 3 後、A または B の四三勝ち。

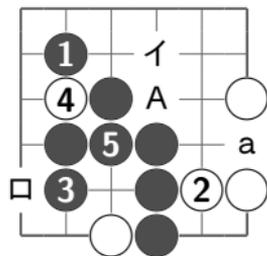
正解手以外の三や四だと勝てなくなります。

※ 最初に 3 は、白 1 と防がれます。1 あるいは 3 で A とすると、白 a と止められます。



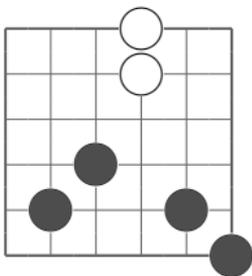
【問 8-5】黒 1 と (イ口)、(ハニ)、(ホ口) をフクみます。白はすべてを防ぐことができません。

※ 最初にイや口等にフクミ手を打つことができますが、1 の点が急所で白 1 と防がれます。

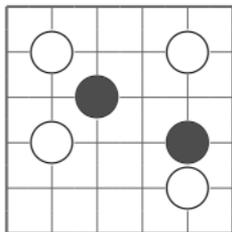


【問 8-6】黒 5 後、A の四三勝ち。白 2 で他は、(2 イ口 3) の四三勝ち。

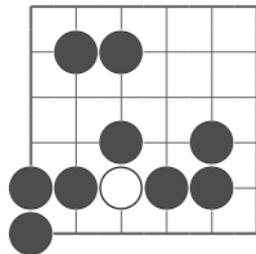
※ 初手でイは四三ではありません。初手あるいは 3 で 5 と打つのは、白 a と防がれます。



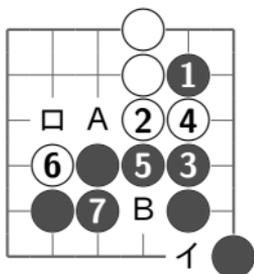
【問 8-7：黒先】
 どんどん攻めていきま
 す。



【問 8-8：白先】
 三々禁にします。

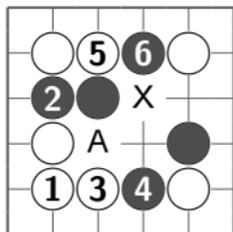


【問 8-9：黒先】
 四追いで、本当の四三を
 作って勝って下さい。

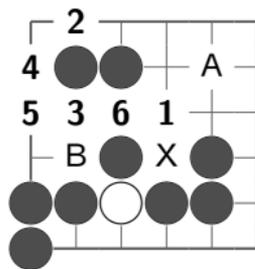


【問 8-7】黒 7 後、A の四三勝ち。白 6 他にも同じ。白 4 上止めは、黒 6・B 後(イ口)の四三勝ち。白 2・4 とも上止めは、5 後(A 2 4)の四三勝ち。

※ 初手で 2 や 7 では勝てません。

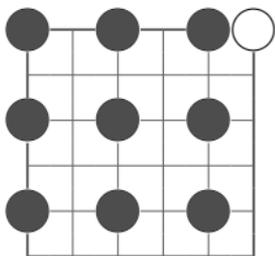


【問 8-8】白 A で X 点三々禁。黒 2, 4, 6 で他にも、四ノビで 2, 4, 6 の点に打たせ、同様の勝ち。
いくつかの手順前後は可能です。

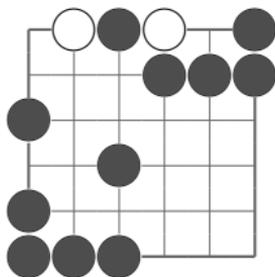


【問 8-9】黒 1~6 で四三勝ち。

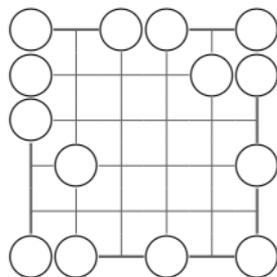
※ 初手で A は四三々禁。(1 2 B) は X 点が四三々のため否四三。



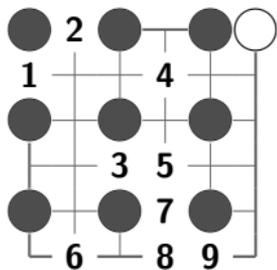
【問 8-10：黒先】
四追いで勝って下さい。



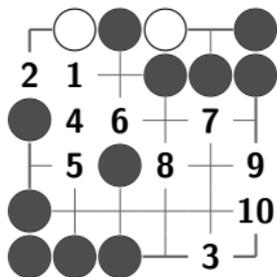
【問 8-11：黒先】
四追いで勝って下さい。



【問 8-12：白先】
四追いで勝って下さい。



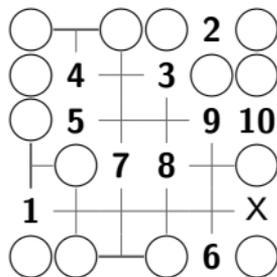
【問 8-10】黒 1~9 の四三勝ち。



【問 8-11】黒 1~10 で四と三が残っての勝ち。

8 が四三のようですが、三をノバす点が四々です。9・10 で四々禁を解除しています。

五を作ると盤面全部が石で埋まる“完全案”です。



【問 8-12】白 1~10 にて X 点四々禁。

四々禁勝ちとしてはこれ以上空点を減らせない準完全案です。

まの よしひさ
著者紹介：真野 芳久

1975 年 五段昇段

2009 年 30 年の休珠後に棋戦参加を再開

2013 年 第 51 期名人戦 A 級リーグに東海地区代表として出場

2014 年, 2015 年, 2016 年 世界選手権戦に出場

2015 年 公益社団法人日本連珠社の理事に就任 (2023 年 退任)

2023 年現在：日本連珠社東海支部長

「連珠の基礎」等のフリーの pdf 連珠書籍を東海連珠会ホームページで公開

珠々の詰連珠 (2)

2018 年 12 月 5 日

2023 年 12 月 1 日 第 2 刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

